

第3章 調査結果の概要

本章では、調査結果のうち、調査問題とその通過率に関する分析、質問(紙)調査とその回答に関する分析、コンピュータテストによって得られたデータについての概略的な分析結果を示す。それぞれの調査問題の詳しい分析結果、質問(紙)調査の詳しい分析結果、それらのクロス集計の結果等については、章を改めて記すことにする。

3-1 問題調査に関する全体的な傾向

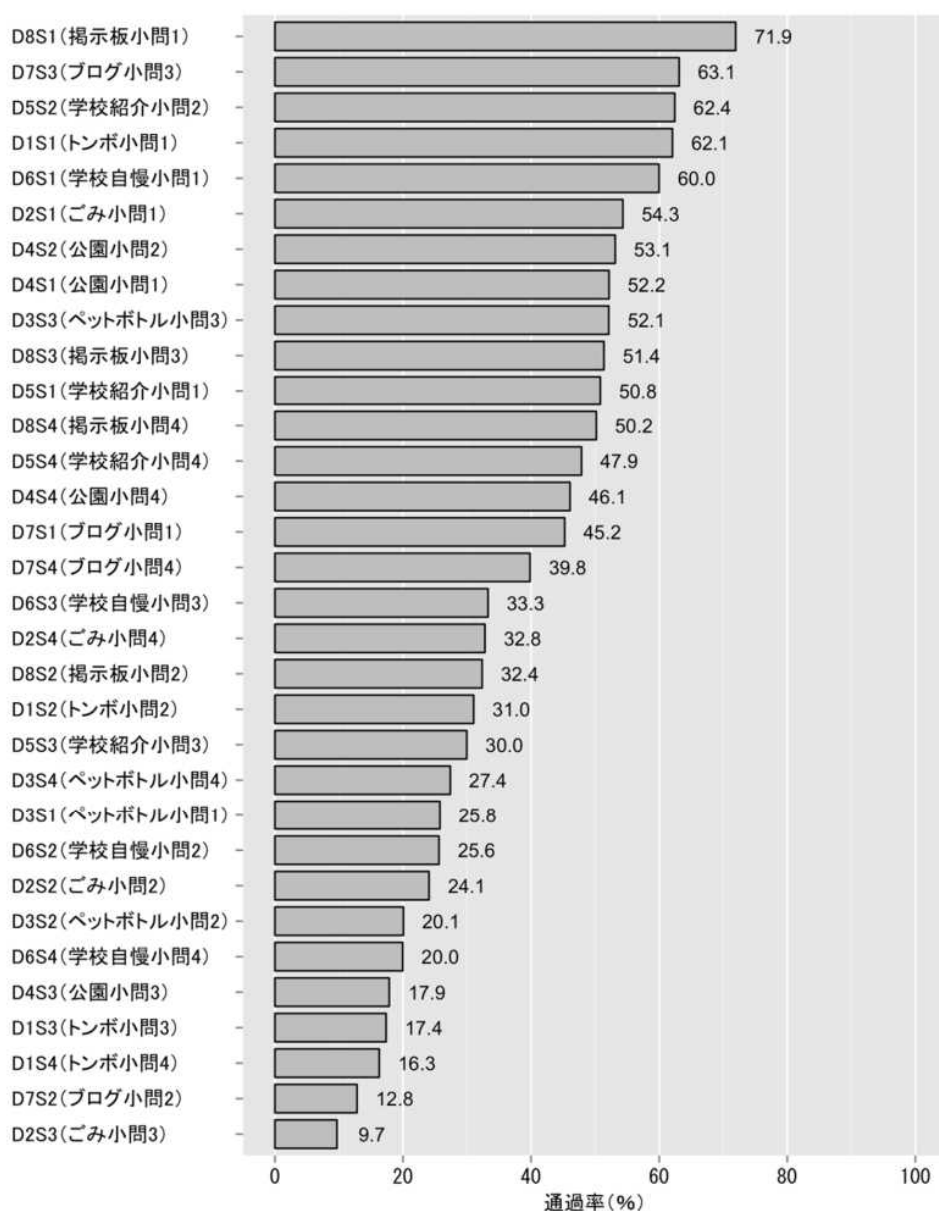
3-1-1 通過率

1 校種別の通過率

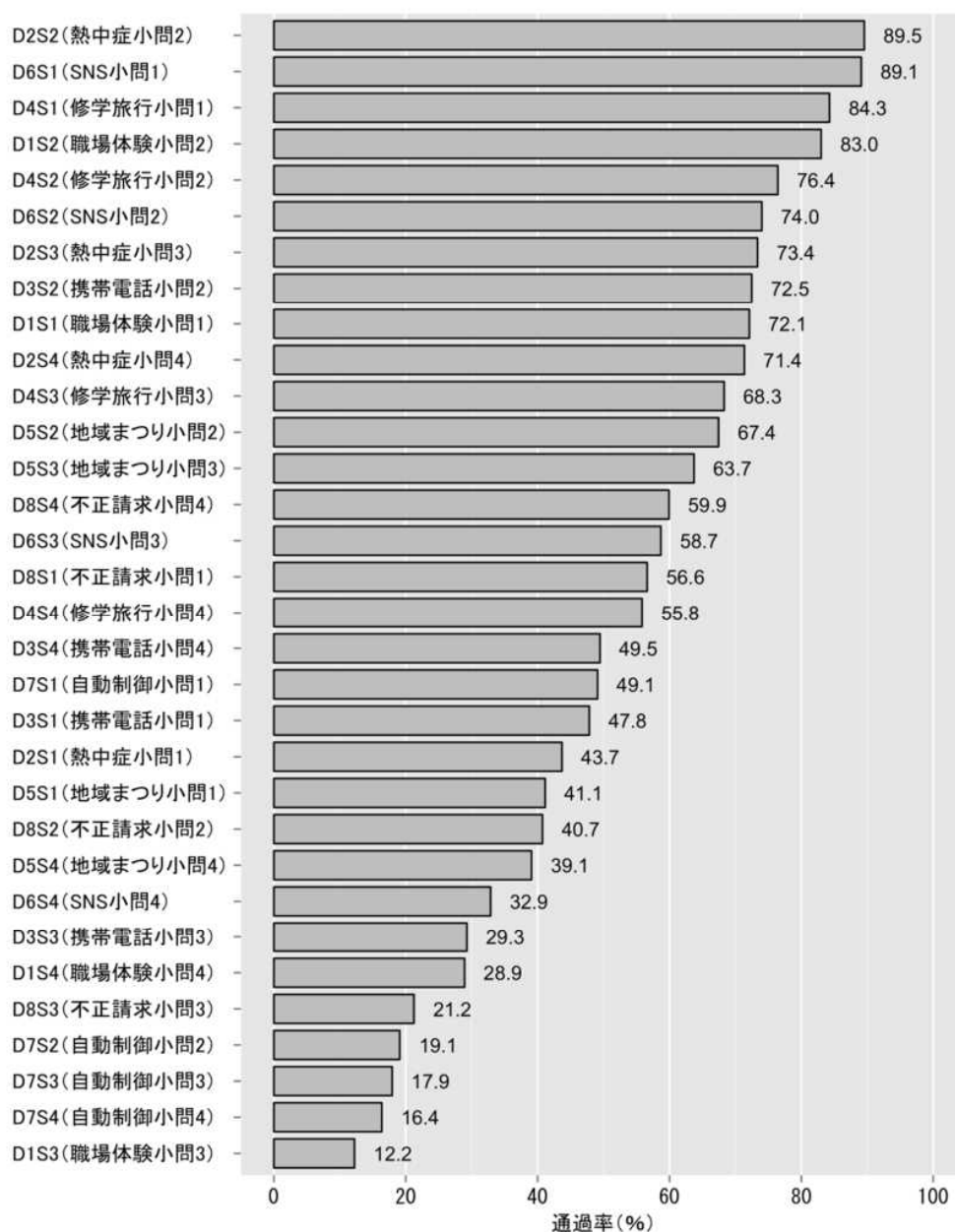
情報活用能力調査の調査問題は、小学校、中学校それぞれ4つの小問からなる8つの大問から構成されており、小問ごとの通過率を算出した。なお、通過率とは、それぞれの小問の全解答者数に対する、正答又は準正答となった解答者数の割合である。

小問全32問の通過率を、校種別に高い順に並べたのが図表3-1-1a および図表3-1-1bである。

図表3-1-1a 小問別通過率分布（通過率の高い順・小学校）



図表 3-1-1b 小問別通過率分布（通過率の高い順・中学校）



調査問題の通過率で、小学校において最も高いものは71.9%、最も低いものは9.7%であり、中学校において最も高いものは89.5%、最も低いものは12.2%であった。

通過率の高かった上位5つの小問、下位5つの小問について、小問番号、測定能力、通過率、無解答率を図表 3-1-2a、図表 3-1-2b、図表 3-1-3a および図表 3-1-3b に示す。

図表 3-1-2a 通過率の高かった小問（上位 5 問・小学校）

小問番号	測定能力	通過率(%)	無解答率(%)
D8S1(掲示板小問 1)	B1-1 情報手段の特性の理解	71.9	0.0
D7S3(ブログ小問 3)	C2-1 ルールやマナーの必要性の理解	63.1	0.3
D5S2(学校紹介小問 2)	A2-2-1 整理	62.4	1.3
D1S1(トンボ小問 1)	A2-1-1 収集	62.1	0.0
D6S1(学校自慢小問 1)	A1-1-1 操作・活用	60.0	15.7

図表 3-1-2b 通過率の低かった小問（下位 5 問・小学校）

小問番号	測定能力	通過率(%)	無解答率(%)
D2S3(ごみ小問 3)	A2-2-4 判断	9.7	2.8
D7S2(ブログ小問 2)	C1-1 情報・情報技術の役割や影響の理解	12.8	1.0
D1S4(トンボ小問 4)	A2-2-1 整理	16.3	28.1
D1S3(トンボ小問 3)	A2-1-2 読み取り	17.4	8.1
D4S3(公園小問 3)	A2-2-1 整理	17.9	10.8

図表 3-1-3a 通過率の高かった小問（上位 5 問・中学校）

小問番号	測定能力	通過率(%)	無解答率(%)
D2S2(熱中症小問 2)	A2-2-1 整理	89.5	0.4
D6S1(SNS 小問 1)	A2-2-1 整理	89.1	0.0
D4S1(修学旅行小問 1)	A2-1-2 読み取り	84.3	0.0
D1S2(職場体験小問 2)	A2-1-2 読み取り	83.0	1.5
D4S2(修学旅行小問 2)	A2-2-4 判断	76.4	9.6

図表 3-1-3b 通過率の低かった小問（下位 5 問・中学校）

小問番号	測定能力	通過率(%)	無解答率(%)
D1S3(職場体験小問 3)	A2-2-3 解釈	12.2	2.0
D7S4(自動制御小問 4)	C1-1 情報・情報技術の役割や影響の理解	16.4	0.6
D7S3(自動制御小問 3)	B1-1 情報手段の特性の理解	17.9	1.6
D7S2(自動制御小問 2)	B1-1 情報手段の特性の理解	19.1	6.2
D8S3(不正請求小問 3)	C2-1 ルールやマナーの必要性の理解	21.2	0.5

2 問題形式別の通過率

各小問の問題形式は、選択式、短答式、記述式、操作の4種に分類される。問題形式ごとの通過率および無解答率の平均を、校種別に通過率の高いものから並べたのが図表 3-1-4a および図表 3-1-4b である。

選択式（択一）の問題形式の通過率の平均は、小学校 63%（5問）、中学校 87%（2問）と、他の問題形式と比べてもっとも高い通過率となっている。これに対して、同じ選択式であっても複数を選択させる選択式（複数）の問題の通過率の平均は、小学校 34%（5問）、中学校 37%（3問）と択一に比べて著しく低くなっている。

問題形式における操作とは、解答をする際に文字入力をはじめ、ウェブ検索、ホームページ閲覧、スライド作成など、コンピュータの操作を伴いながら解答が必要とされる場合を指す。このため、問題形式において、「記述式」や「短答式」に該当する問題は文字や数字の入力を伴うことから、「操作」と組み合わせて問題形式上は整理している。なお、ラジオボタンをクリックして選択する操作については、問題形式において「操作」とせず、「選択式」として整理している。このように問題形式における「操作」とは、広範にわたっており、いわゆる操作できたかどうかの技能としての「操作」とは該当問題が異なることに留意が必要である。

無解答率が 20%を超えた小問について小問番号、問題形式、通過率、無解答率を図表 3-1-5a および図表 3-1-5b に示す。小学校で 6 問、中学校で 3 問となっており、最も無解答率が高かったのは、小学校では検索をして情報を読み取る問題（D1S2）の 40%、中学校では目的に合致するグラフを作成する問題（D3S3）の 31%であり、いずれも操作を伴う問題であった。

図表 3-1-4a 問題形式別通過率分布（小学校）

問題形式	小問数(問)	通過率の平均(%)	無解答率の平均(%)
選択式（択一）	5	62.8	0.3
選択式（択一）＋記述式＋操作	4	40.2	1.3
操作	6	38.0	12.0
記述式＋操作	7	36.2	20.8
選択式（複数）	5	34.3	10.9
選択式（複数）＋記述式＋操作	1	32.8	5.2
短答式＋操作	1	32.4	1.4
選択式（複数）＋操作	3	15.5	2.9

図表 3-1-4b 問題形式別通過率分布（中学校）

問題形式	小問数(問)	通過率の平均(%)	無解答率の平均(%)
選択式（択一）	2	86.7	0.0
短答式＋操作	3	64.1	13.2
操作	5	57.6	7.4
記述式＋操作	13	55.6	9.2
選択式（択一）＋操作	2	50.2	0.0
選択式（複数）	3	37.1	0.5
選択式（択一）＋記述式＋操作	3	34.7	0.5
選択式（複数）＋操作	1	12.2	2.0

図表 3-1-5a 無解答率の高かった小問と問題形式（小学校）

小問番号	問題形式	通過率(%)	無解答率(%)
D1S2(トンボ小問2)	操作	31.0	39.8
D6S4(学校自慢小問4)	選択式（複数）	20.0	35.0
D4S4(公園小問4)	記述式＋操作	46.1	30.9
D1S4(トンボ小問4)	記述式＋操作	16.3	28.1
D6S3(学校自慢小問3)	記述式＋操作	33.3	27.0
D6S2(学校自慢小問2)	記述式＋操作	25.6	21.8

図表 3-1-5b 無解答率の高かった小問と問題形式（中学校）

小問番号	問題形式	通過率(%)	無解答率(%)
D3S3(携帯電話小問3)	操作	29.3	30.7
D3S1(携帯電話小問1)	短答式＋操作	47.8	25.3
D5S4(地域まつり小問4)	記述式＋操作	39.1	25.0

3 3 観点・能力カテゴリ別の通過率

各小問はそれぞれ、その作問意図により、情報活用能力の3観点のいずれかに分類される。「A. 情報活用の実践力」については、問題作成時にその下位目標を検討し、測定する能力を細分化していた。分析に当たっては、児童生徒の各小問の通過率の状況および α 値を参考としながら、問題作成時に細分化した分類を見直し、「A1. 操作」「A2. 収集・読み取り」「A3. 処理」「A4. 整理・解釈」「A5. 発信・伝達」の5つのカテゴリに再構成した。再構成後の観点ごとの通過率の平均を、校種別にまとめたのが図表 3-1-6a および図表 3-1-6b である。

また、小問を通過率が高い順に並べ、測定能力を配置したものが図表 3-1-7a および図表 3-1-7b である。

図表 3-1-7a および図表 3-1-7b では四角や楕円で囲んで示しているのは再構成後の各能力である。小学校には「A3. 処理」に該当する問題は存在しなかった。また「A1. 操作」に該当する問題は、2章に記述しているとおり直接操作技能を測っている小学校 D6S1 の小問が該当するが、分析からは外している。

約7割の小問が「A. 情報活用の実践力」の観点に分類される問題であり、問題数のバランスから他2つの観点との安易な比較はできないが、「A. 情報活用の実践力」の観点の通過率の平均が小学校に比べて中学校の方が高い傾向が認められた。カテゴリ別に見ても、小学校が該当する「A2. 収集・読み取り」「A4. 整理・解釈」「A5. 発信・伝達」のすべてのカテゴリで、小学校は中学校に比べて通過率が低い傾向があった。また、小学校では「A5. 発信・伝達」(17.8%)が、中学校では「A3. 処理」(21.5%)のカテゴリが、同校種他カテゴリと比べて無答率が高い傾向があった。

図表 3-1-6a 3 観点・能力カテゴリー別通過率分布(小学校)

3 観点	能力カテゴリー	小問数(問)	通過率の平均(%)	無解答率の平均(%)
A. 情報活用の実践力		23(24)	35.9	11.6
	A1. 操作	1(7)	—	—
	A2. 収集・読み取り	10	42.7	6.9
	A3. 処理	—		
	A4. 整理・解釈	7	27.2	13.8
	A5. 発信・伝達	5	35.5	17.8
B. 情報の科学的な理解		3	55.8	1.2
	B1. 特性の理解	3	55.8	1.2
	B2. 情報活用の評価・改善	—		
C. 情報社会に参画する態度		5	45.2	2.5
	C1. 役割や影響の理解	1	12.8	1.0
	C2. 情報モラル	2	47.8	0.9
	C3. 参画態度	2	45.6	5.0

※小問数の()は、主として測る能力が別のカテゴリーに属している問題を含んだ数を示す。

図表 3-1-6b 3 観点・能力カテゴリー別通過率分布(中学校)

3 観点	能力カテゴリー	小問数(問)	通過率の平均(%)	無解答率の平均(%)
A. 情報活用の実践力		22(23)	—	—
	A1. 操作	0(8)	—	—
	A2. 収集・読み取り	6	73.3	2.2
	A3. 処理	3	49.9	21.5
	A4. 整理・解釈	10	56.7	5.4
	A5. 発信・伝達	3	58.9	13.8
B. 情報の科学的な理解		4	29.7	5.9
	B1. 特性の理解	4	29.7	5.9
	B2. 情報活用の評価・改善	—		
C. 情報社会に参画する態度		6	42.3	0.8
	C1. 役割や影響の理解	3	37.9	0.7
	C2. 情報モラル	2	40.0	0.3
	C3. 参画態度	1	59.9	2.2

※小問数の()は、主として測る能力が別のカテゴリーに属している問題を含んだ数を示す。

図表 3-1-7a 小問・測定能力一覧（通過率の高い順・小学校）

大問	小問	問題形式	A 情報活用の実践力									B 情報の科学的な理解		C 情報社会に参画する態度			通過率			
			A1	A2						A3	B1	B2	C1	C2	C3					
			A1-1	A2-1	A2-2			A2-3	A2-4	A2-5	A2-6	A3-1	B1-1	B2-1	C1-1	C2-1		C3-1		
			A1-1-1 操作・活用	A2-1-1 収集	A2-2-1 読み取り	A2-2-1 整理	A2-2-2 処理	A2-2-3 解釈	A2-2-4 判断	A2-2-5 創造	A2-2-6 表現	A3-1-1 発信・伝達	B1-1 情報手段 の特性の 理解	B2-1 情報活用 の評価・改 善	C1-1 情報・情報 技術の役 割や影響 の理解	C2-1 ルールやマ ナーの必要 性の理解		C3-1 情報社会 への参画		
D8	S1	選択式(択一)											D6S1							71.9%
D7	S3	選択式(択一)																D7S3		63.1%
D5	S2	選択式(択一)																		62.4%
D1	S1	選択式(択一)																		62.1%
D6	S1	操作																		60.0%
D2	S1	選択式(択一)																		54.3%
D4	S2	記述式+操作																		53.1%
D4	S1	選択式(複数)																		52.2%
D3	S3	選択式(複数)																		52.1%
D8	S3	記述式+操作																		51.4%
D5	S1	選択式(択一)+記述式																		50.8%
D8	S4	選択式(択一)+記述式																		50.2%
D5	S4	操作																		47.9%
D4	S4	記述式+操作																		46.1%
D7	S1	操作																		45.2%
D7	S4	選択式(択一)+記述式																		39.8%
D6	S3	記述式+操作																		33.3%
D2	S4	選択式(複数)+記述式+操作																		32.8%
D8	S2	短答式+操作																		32.4%
D1	S2	操作																		31.0%
D5	S3	選択式(複数)																		30.0%
D3	S4	記述式+操作																		27.4%
D3	S1	操作																		25.8%
D6	S2	記述式+操作																		25.6%
D2	S2	選択式(複数)+操作																		24.1%
D3	S2	選択式(択一)+記述式																		20.1%
D6	S4	選択式(複数)																		20.0%
D4	S3	操作																		17.9%
D1	S3	選択式(複数)																		17.4%
D1	S4	記述式+操作																		16.3%
D7	S2	選択式(複数)+操作																		12.8%
D2	S3	選択式(複数)+操作																		9.7%

図表 3-1-7b 小問・測定能力一覧（通過率の高い順・中学校）

大問	小問	問題形式	A 情報活用の実践力									B 情報の科学的な理解		C 情報社会に参画する態度			通過率				
			A1	A2						A3	B1	B2	C1	C2	C3						
			A1-1	A2-1	A2-2			A2-3	A2-4	A2-5	A2-6	A3-1	B1-1	B2-1	C1-1	C2-1		C3-1			
			A1-1-1 操作・活用	A2-1-1 収集	A2-2-1 読み取り	A2-2-1 整理	A2-2-2 処理	A2-2-3 解釈	A2-2-4 判断	A2-2-5 創造	A2-2-6 表現	A3-1-1 発信・伝達	B1-1 情報手段 の特性の 理解	B2-1 情報活用 の評価・改 善	C1-1 情報・情報 技術の役 割や影響 の理解	C2-1 ルールやマ ナーの必要 性の理解		C3-1 情報社会 への参画			
D2	S2	操作																		89.5%	
D6	S1	選択式(択一)																			89.1%
D4	S1	選択式(択一)																			84.3%
D1	S2	操作																			83.0%
D4	S2	記述式+操作																			76.4%
D6	S2	記述式+操作																			74.0%
D2	S3	記述式+操作																			73.4%
D3	S2	短答式+操作																			72.5%
D1	S1	短答式+操作																			72.1%
D2	S4	記述式+操作																			71.4%
D4	S3	操作																			68.3%
D5	S2	記述式+操作																			67.4%
D5	S3	記述式+操作																			63.7%
D8	S4	記述式+操作																			59.9%
D6	S3	選択式(択一)+記述式+操作																			58.7%
D8	S1	選択式(択一)+操作																			56.6%
D4	S4	記述式+操作																			55.8%
D3	S4	記述式+操作																			49.5%
D7	S1	選択式(複数)																			49.1%
D3	S1	短答式+操作																			47.8%
D2	S1	選択式(択一)+操作																			43.7%
D5	S1	選択式(複数)																			41.1%
D8	S2	記述式+操作																			40.7%
D5	S4	記述式+操作																			39.1%
D6	S4	記述式+操作																			32.9%
D3	S3	操作																			29.3%
D1	S4	選択式(択一)+記述式+操作																			28.8%
D8	S3	選択式(複数)																			21.2%
D7	S2	記述式+操作																			19.1%
D7	S3	操作																			17.9%
D7	S4	選択式(択一)+記述式+操作																			16.4%
D1	S3	選択式(複数)+操作																			12.2%

図表 3-1-8a 小問一覧（小学校）

公開	大問	小問	問題の特性	問題形式	能力カテゴリー
○	D0	S1	文字の入力	記述式	—
	D1	S1	情報収集方法の選択	選択式（択一）	A2. 収集・読み取り
	D1	S2	検索, 情報アクセス, 情報の読み取り	操作	A2. 収集・読み取り, (A1. 操作)
	D1	S3	ホームページからの情報の読み取り	選択式（複数）	除外
	D1	S4	2つのホームページからの情報を読み取り, 要点を整理する。	記述式+操作	A4. 整理・解釈
	D2	S1	ホームページからの情報の読み取り	選択式（択一）	A2. 収集・読み取り
	D2	S2	検索, グラフデータからの読み取り	選択式（複数）+操作	A2. 収集・読み取り, (A1. 操作)
○	D2	S3	検索, ホームページ情報をもとに適切なものを判断	選択式（複数）+操作	A2. 収集・読み取り, (A1. 操作)
	D2	S4	情報を基に, 自分の考えをまとめる	選択式（複数）+記述式+操作	A4. 整理・解釈
	D3	S1	適切な情報を伝えているグラフの選択	操作	A2. 収集・読み取り, (A1. 操作)
○	D3	S2	グラフ情報をもとに適切なものを判断	選択式（択一）+記述式	A4. 整理・解釈
	D3	S3	グラフからの情報の読み取り	選択式（複数）	A2. 収集・読み取り
	D3	S4	グラフの特徴についての理解	記述式+操作	A4. 整理・解釈
	D4	S1	音声からの情報の読み取り	選択式（複数）	A2. 収集・読み取り
	D4	S2	発言内容からの情報の読み取り, 整理	記述式+操作	A2. 収集・読み取り
○	D4	S3	意見の分類, 整理	操作	A4. 整理・解釈
	D4	S4	情報を基に, 自分の考えをまとめる	記述式+操作	A4. 整理・解釈
	D5	S1	情報伝達方法の選択	選択式（択一）+記述式	A5. 発信・伝達
○	D5	S2	表情報をもとに情報を分類, 整理	選択式（択一）	A2. 収集・読み取り
	D5	S3	表情報をもとに適切な情報を解釈し, 判断	選択式（複数）	A4. 整理・解釈
	D5	S4	情報発信の順番, 内容を考える	操作	A5. 発信・伝達
	D6	S1	スライドに画像を添付し, 拡縮する。(操作性)	操作	A1. 操作
	D6	S2	発信する情報を読み取り, それに合うスライドを作成	記述式+操作	A5. 発信・伝達
	D6	S3	スライドに画像を添付し, その画像を選んだ理由を記述	記述式+操作	A5. 発信・伝達, (A1. 操作)
	D6	S4	適切な発表の仕方を考える	選択式（複数）	A5. 発信・伝達

○	D7	S1	情報手段の特徴の理解	操作	B1. 特性の理解 C1. 役割や影響の理解, (A1. 操作)
	D7	S2	情報発信の際の留意点	選択式(複数) + 操作	
○	D7	S3	情報発信に関するルールやマナー	選択式(択一)	C2. 情報モラル C3. 参画態度
	D7	S4	情報発信の際の留意点	選択式(択一) + 記述式	
○	D8	S1	情報通信技術の特性の理解	選択式(択一)	B1. 特性の理解 C2. 情報モラル C3. 参画態度
	D8	S2	情報発信に関するルールやマナーの理解	短答式 + 操作	
	D8	S3	情報社会の一員としての自覚と行動	記述式 + 操作	
	D8	S4	情報通信技術の特性の理解	選択式(択一) + 記述式	

図表 3-1-8b 小問一覧（中学校）

公開	大問	小問	問題の特性	問題形式	能力カテゴリー
○	D0	S1	文字の入力	記述式	
		S2	文字の入力	記述式	
	D1	S1	ホームページからの情報の読み取り	短答式＋操作	A2. 収集・読み取り
		S2	ホームページからの情報の読み取り、整理	操作	A2. 収集・読み取り
		S3	ホームページからの情報の読み取り、解釈	選択式（複数）＋操作	A4. 整理・解釈
		S4	ホームページ情報をもとに適切なものを判断	選択式（択一）＋記述式＋操作	A4. 整理・解釈
○	D2	S1	ホームページからの情報の読み取り	選択式（択一）＋操作	A2. 収集・読み取り
		S2	ホームページからの情報の読み取り、整理	操作	A4. 整理・解釈
		S3	整理した情報の内容を解釈し、小見出しを付ける	記述式＋操作	A4. 整理・解釈
		S4	情報を比較し、情報の過不足を考える	記述式＋操作	A4. 整理・解釈
○	D3	S1	グラフを作成し、データを読み取る	短答式＋操作	A3. 処理, (A1. 操作)
		S2	表計算ソフトを活用して、作業をする。	短答式＋操作	A3. 処理, (A1. 操作)
		S3	目的に合ったグラフを作成する。	操作	A3. 処理, (A1. 操作)
		S4	グラフを読み取り、データを解釈する。	記述式＋操作	A4. 整理・解釈
○	D4	S1	情報を読み取り、テーマを選択する。	選択式（択一）	A2. 収集・読み取り
		S2	情報を比較し、情報の過不足を考える。	記述式＋操作	A4. 整理・解釈
		S3	ルート探索ソフトを活用し、条件に合致したルートを探る。	操作	A4. 整理・解釈, (A1. 操作)
		S4	適切なルート設定のため、アドバイスをする。	記述式＋操作	A4. 整理・解釈
○	D5	S1	発表内容の構成を考える。	選択式（複数）	A4. 整理・解釈
		S2	情報を読み取り、小見出しを付ける	記述式＋操作	A2. 収集・読み取り
		S3	情報を読み取り、内容を伝達するためのスライドを作成する。	記述式＋操作	A5. 発信・伝達, (A1. 操作)
		S4	情報を読み取り、内容を伝達するためのスライドを作成する。	記述式＋操作	A5. 発信・伝達, (A1. 操作)
	D6	S1	情報を整理し、話の流れを解釈する。	選択式（択一）	A2. 収集・読み取り
		S2	情報を解釈し、適切な意見を発言できる	記述式＋操作	A5. 発信・伝達, (A1. 操作)
		S3	情報発信に関するルールやマナー	選択式（択一）＋記述式＋操作	C2. 情報モラル
		S4	情報手段の特性を理解し、適切な発信手段を考える。	記述式＋操作	B1. 特性の理解
○	D7	S1	情報技術の特性	選択式（複数）	B1. 特性の理解
		S2	情報技術の特性	記述式＋操作	B1. 特性の理解
		S3	情報技術の特性	操作	B1. 特性の理解

	D7	S4	情報技術が果たす役割	選択式（択一）＋記述式＋操作	C1. 役割や影響の理解
	D8	S1	情報の誤認性や危険性	選択式（択一）＋操作	C1. 役割や影響の理解, (A1. 操作)
○	D8	S2	情報の誤認性や危険性	記述式＋操作	C1. 役割や影響の理解
	D8	S3	情報の受け手としての行動	選択式（複数）	C2. 情報モラル
	D8	S4	情報社会へ参画する態度	記述式＋操作	C3. 参画態度

3-1-2 通過小問数分布

1 校種別の通過小問数分布

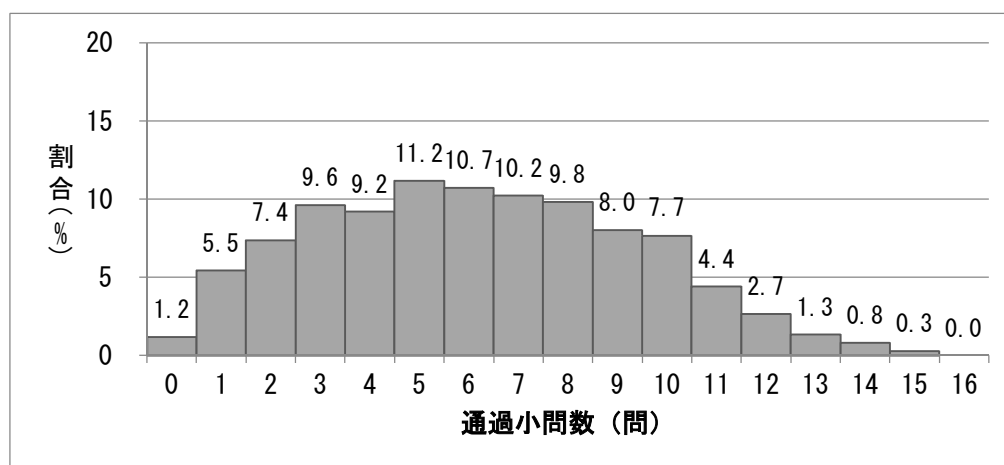
児童生徒はそれぞれ指定された大問4問に取り組んでおり、1人あたり16問の小問に解答した。それぞれの児童生徒が16問のうち何問の小問を通過したかの合計を求め、通過小問数とした。（厳密には、それぞれの児童生徒が解答した小問ごとに通過率が異なることに注意する必要がある。）

児童生徒の通過小問数の分布を校種別にまとめたのが、図表3-1-9aおよび図表3-1-9bである。

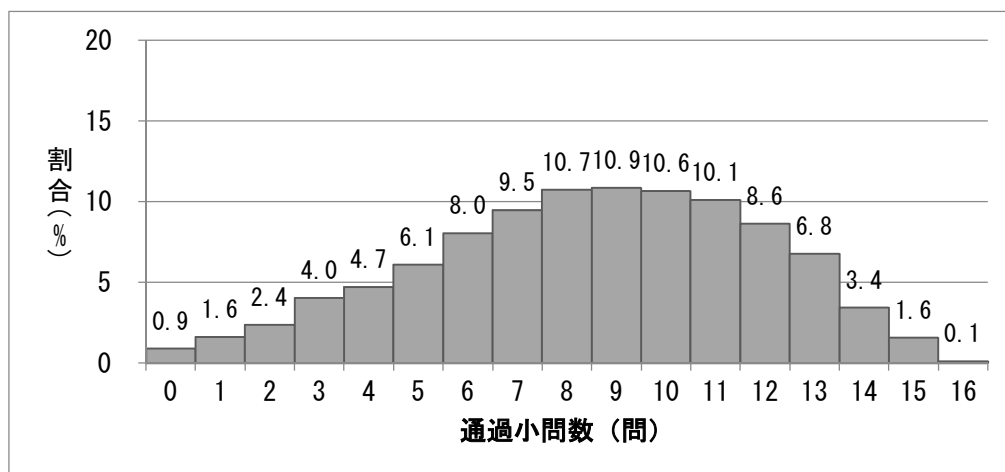
小学校の平均通過小問数は6.2問、標準偏差は3.2であった。中学校の平均通過小問数は8.5問、標準偏差は3.4であった。

いずれも正規分布に近い形の分布を示したが、小学校は5問の割合が最も高く、平均よりやや通過小問数の少ない方に、中学校は9問の割合が最も高く、平均よりやや多い方に偏りが見られた。

図表3-1-9a 通過小問数の分布（小学生）



図表 3-1-9b 通過小問数の分布（中学生）

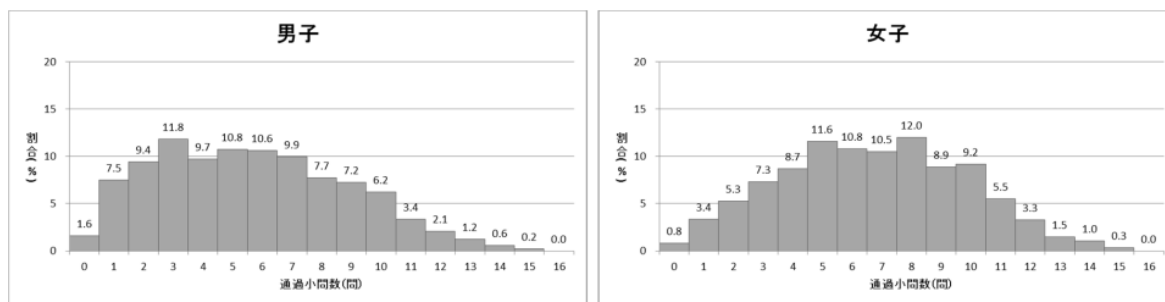


2 男女別の通過小問数分布

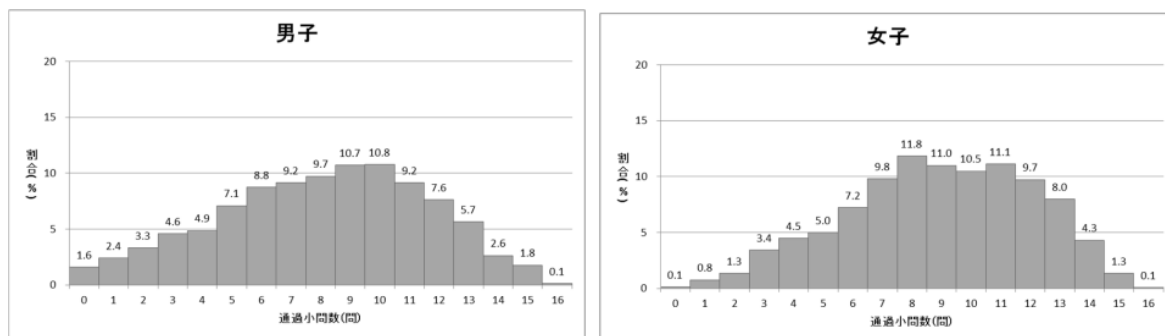
児童生徒の通過小問数の分布を男女別にまとめたのが、図表 3-1-10a および図表 3-1-10b である。

小学校の男子は3問の割合が最も高く、平均よりやや通過小問数の少ない方に、小学校の女子は8問の割合が最も高く、平均により多い方に偏りが見られた。その傾向は中学校に比べて小学校の方が顕著であった。

図表 3-1-10a 男女別通過小問数分布（小学校）



図表 3-1-10b 男女別通過小問数分布（中学校）

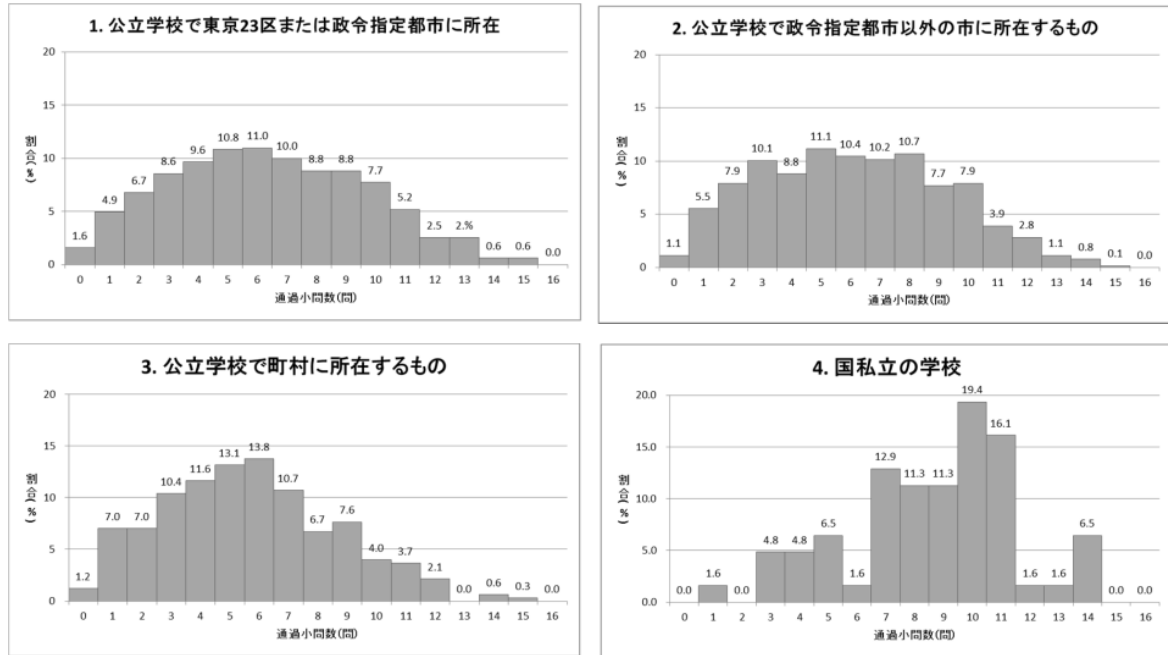


3 所在地別の通過小問数分布

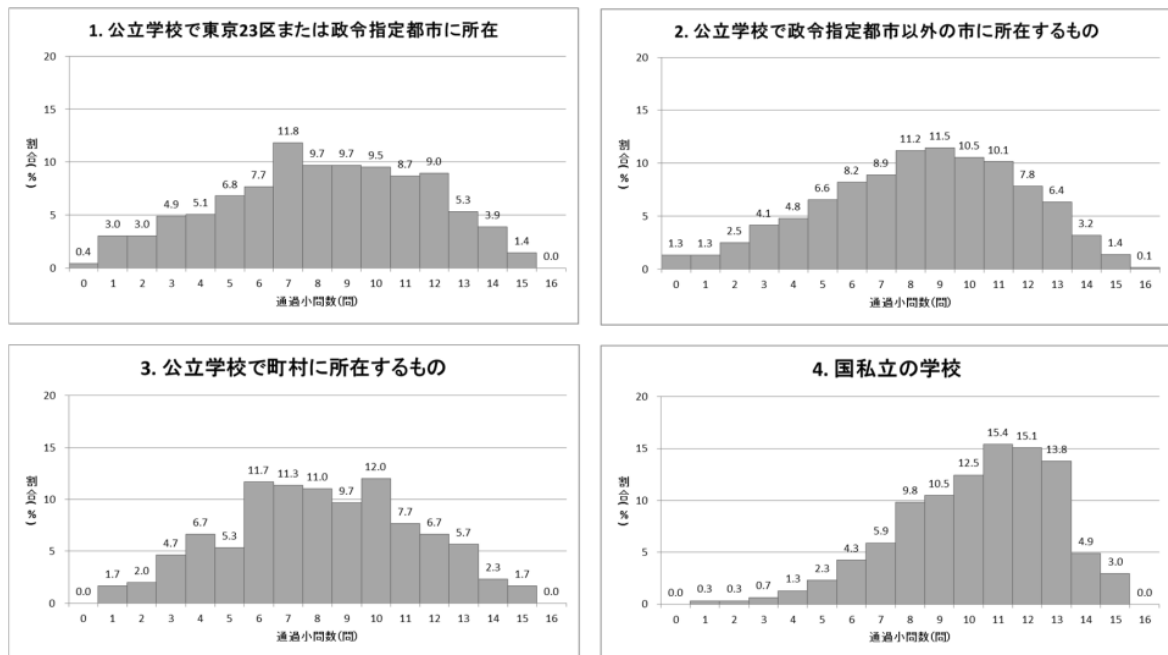
学校の所在地等により，1. 公立学校で東京 23 区または政令指定都市に所在，2. 公立学校で政令指定都市以外の市に所在，3. 公立学校で町村に所在，4. 国私立の学校の 4 つに分類し，それぞれの児童生徒の通過小問数の分布を校種別にまとめたのが図表 3-1-11a および図表 3-1-11b である。

公立学校については，小学校，中学校ともに，東京 23 区または政令指定都市，政令指定都市以外の市，町村のそれぞれの分布に大きな違いは見られなかった。国私立の学校については，公立学校より通過小問数の多い方に分布の偏りが見られ，小学校では 10 問，中学校では 11 問の割合が最も高く，特に中学校でその傾向が顕著であった。

図表 3-1-11a 4層別通過小問数分布（小学校）



図表 3-1-11b 4層別通過小問数分布（中学校）



なお、調査問題に関する分析については、小問や大問ごとの誤答の類型に関する分析のほか、通過時間の分布などログによる分析、質問調査とのクロス分析等も行っている。

3-2 質問(紙)調査に関する全体的な傾向

3-2-1 学校用質問紙調査

学校に対する質問紙調査は、情報活用能力調査を実施した学校の校長を対象に、情報活用能力に関する指導体制等の背景を探ることを目的として行われた。

調査項目は、小学校、中学校とも同じものを用い、39項目であった。「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」や「学びのイノベーション事業」における質問調査との対応に配慮するとともに、情報活用能力調査のための独自項目も設定した。

校種別の反応率を示したものが図表 3-2-1a および図表 3-2-1b である。また、図表 3-2-2a, 図表 3-2-3a, 図表 3-2-4a, 図表 3-2-5a はカテゴリーごとに小学校と中学校の結果を比較して示した結果であり、図表 3-2-2b, 図表 3-2-3b, 図表 3-2-4b, 図表 3-2-5b は小学校の結果をカテゴリーごとに肯定的な回答の割合が高かった順に並べて示した結果であり、図表 3-2-2c, 図表 3-2-3c, 図表 3-2-4c, 図表 3-2-5c は中学校の結果をカテゴリーごとに肯定的な回答の割合が高かった順に並べて示した結果であり、図表 3-2-2d, 図表 3-2-3d, 図表 3-2-4d, 図表 3-2-5d は選択肢を示した表である。

校種による大きな違いは見られなかった。小学校、中学校ともに、「3.6 情報活用能力育成の校内研修」「3.7 情報活用能力育成の実践的研修」の肯定的な回答が少なかった。

なお、「8.1 あなたの学校で情報教育を推進するにあたり、課題となっていることはなにですか」の回答の割合が高かった選択肢順に並べて示した結果が、図表 3-2-6a および図表 3-2-6b である。

図表 3-2-1a 学校に対する質問調査結果（小学校 最も反応率の高い選択肢に●）

小学校(学校数:116)										
小項目			選択肢別反応率(%)							
1 戦略的な学校経営			あなたの学校では、今年度、次のような取り組みを実施していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
		項目	1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 あてはまらない				無回答
1	1.1	職員会議や授業研究会等において、教育の情報化の重要性を教職員に周知している	35.7	54.7	9.6	0.0				0.0
2	1.2	教育の情報化に関わる施策等の情報収集を、積極的に行っている	14.5	62.5	21.2	1.8				0.0
3	1.3	学校の情報化を推進するための校務分掌を組織し、適切な人材配置を行っている	53.5	42.0	4.6	0.0				0.0
4	1.4	教員に、ICT活用指導力向上のための研修・研究機会を積極的に提供している(校外を問わない)	35.0	48.1	16.2	0.6				0.0
5	1.5	学校のICTを最大限活用するために、機器の配置の工夫を行っている	26.6	57.8	15.3	0.3				0.0
6	1.6	学校の情報化を支援する外部人材や技術サポートを活用している	20.9	31.6	36.1	11.5				0.0
2 ICTを活用した授業の実施			あなたの学校では、今年度、次のような取り組みを実施していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
7	2.1	ICT環境の整備について、前年度よりも積極的に充実を図っている	23.5	46.8	29.1	0.6				0.0
8	2.2	教員に対し、教材研究・指導の準備などにICTを活用することを促している	29.8	58.0	12.2	0.0				0.0
9	2.3	授業のチェックや授業観察等で教室での教員による日常的なICT活用を確認している	20.7	43.8	30.3	5.2				0.0
10	2.4	普通教室で用いるための教科指導用デジタルコンテンツを整備している	18.5	44.7	24.2	12.1				0.6
11	2.5	学力調査の結果等も活用しながら、学力向上へのICTの活用可能性やその効果を確認している	10.9	43.7	43.3	2.1				0.0
3 情報活用能力の育成と情報モラル教育への対応			あなたの学校では、今年度、次のような取り組みを実施していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
12	3.1	総合的な学習の時間のカリキュラムに情報活用能力を育成する学習活動を盛り込んでいる	36.7	53.4	7.7	2.2				0.0
13	3.2	児童生徒のコンピュータ操作スキルなどの到達目標の設定と評価をしている	10.6	50.9	31.0	6.7				0.8
14	3.3	各教科の学習活動の中で情報活用能力の育成に配慮するよう教員を促している	14.6	59.4	22.7	3.3				0.0
15	3.4	情報モラル教育を教育課程に位置づけ、学校での日常的な指導と組み合わせる計画的に実施している	23.3	51.5	24.4	0.8				0.0
16	3.5	ICTを活用して、児童生徒の理解が深まる授業の在り方について検討や研修をしている	19.3	41.2	36.6	3.0				0.0
17	3.6	学校において情報活用能力の育成に関する研修テーマを設定し、必要に応じ外部の講師を招へいするなど、校内研修を情報活用能力を育成することを旨とした模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている	8.9	21.0	54.3	15.8				0.0
18	3.7	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている	5.4	22.6	54.6	16.5				0.9
19	3.8	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている	29.1	50.4	20.5	0.0				0.0
20	3.9	携帯電話やインターネットの安全な利用について保護者と連携した取り組みを行っている	30.8	45.3	23.1	0.8				0.0
4 校務の情報化と情報セキュリティへの対応			あなたの学校では、今年度、次のような取り組みを実施していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
21	4.1	校務の情報化を積極的に進め、校務の効率化を図っている	44.4	47.2	8.4	0.0				0.0
22	4.2	校務処理のためのシステム、ICT機器の整備に配慮している	42.9	41.7	13.6	1.8				0.0
23	4.3	個人情報保護のための具体的な手段を策定している	58.7	39.6	1.7	0.0				0.0
24	4.4	著作権の順守について、教職員、児童生徒及び保護者の理解を促している	26.7	59.9	13.4	0.0				0.0
5 保護者・地域・学校外への広報・説明責任			あなたの学校では、今年度、次のような取り組みを実施していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
25	5.1	情報管理をしながら、学校ウェブサイト等による情報発信を積極的に行っている	45.7	35.6	11.7	7.0				0.0
26	5.2	保護者・地域住民等に必要な情報公開を行っている	57.8	39.2	2.9	0.0				0.0
6 児童生徒に対する指導			児童生徒に対する指導について、あなたの学校の状況にもっとも近いものを○で囲んでください。							
		項目	1 よくしている	2 どちらかといえばしている	3 どちらかといえばしていない	4 していない				無回答
27	6.1	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあっている	82.6	17.4	0.0	0.0				0.0
28	6.2	「朝の読書」などの一斉読書の時間を設定している	89.7	8.3	0.0	2.1				0.0
29	6.3	学校図書館を活用した授業を計画的に実施している	49.5	44.0	6.5	0.0				0.0

7 学校全体方針			あなたの学校では、次のような取り組みをどの程度重視していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
項目			1 重視している	2 どちらかといえば重視している	3 どちらかといえば重視していない	4 重視していない				無回答
30	7.1	きめ細やかな指導を通じて確かな学力の向上を図る	85.5 ●	14.5	0.0	0.0				0.0
31	7.2	思考力・判断力・表現力等を育成する指導の充実を図る	75.0 ●	25.0	0.0	0.0				0.0
32	7.3	課題解決型の授業の充実を図る	49.2 ●	43.9	6.9	0.0				0.0
33	7.4	今日的な実社会の課題を扱った学習や体験的な学習の充実を図る	48.2 ●	43.5	8.3	0.0				0.0
34	7.5	児童や生徒同士がともに教え学び合う協働的な学習の機会の充実を図る	57.3 ●	39.7	3.0	0.0				0.0
35	7.6	各教科でICT機器を効果的に活用して学習効果を高める場面を設定する	16.3	65.6	17.2	0.9				0.0
36	7.7	各教科で情報活用能力が必要な場面の設定を図る	11.5	53.5 ●	34.1	0.9				0.0
37	7.8	観点別評価に基づいて多様な観点から評価を行う	48.6 ●	46.7	4.7	0.0				0.0
38	7.9	学習する意義について児童生徒が考える機会を設ける	31.5	56.9 ●	11.6	0.0				0.0
8 その他			あなたの学校で情報教育を推進するにあたり、課題となっていることはなにかですか。最も近いものを1つ選んで○で囲んでください。							
項目			1 校内LANやインターネットなど接続環境の整備	2 校内の指導体制の整備	3 教員のICT活用の技能	4 教員の指導力の向上	5 教員のICT活用に関する意識醸成	6 教育用コンテツツなどの整備	7 コンピュータなどハード環境整備	無回答
39	8.1	あなたの学校で情報教育を推進するにあたり、課題となっていることはなにかですか。最も近いものを1つ選んで○で囲んでください。	7.5	5.2	16.7	17.2	12.4	23.4 ●	17.5	0.0

図表 3-2-1b 学校に対する質問調査結果（中学校 最も反応率の高い選択肢に●）

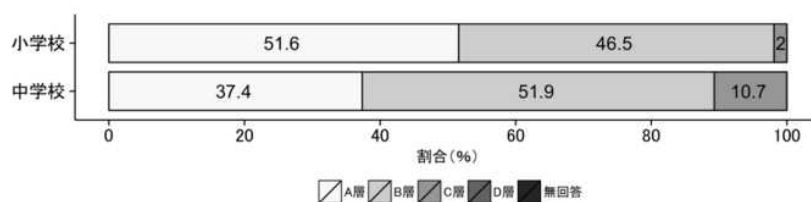
小項目		選択肢別反応率(%)							
1 戦略的な学校経営		あなたの学校では、今年度、次のような取り組みを実施していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
	項目	1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 あてはまらない				無回答
1	1.1	27.1	58.2	14.7	0.0				0.0
2	1.2	6.1	68.6	25.3	0.0				0.0
3	1.3	41.2	39.5	18.4	0.9				0.0
4	1.4	19.1	48.8	29.1	2.9				0.0
5	1.5	21.2	47.2	30.4	1.1				0.0
6	1.6	16.3	20.3	47.5	15.9				0.0
2 ICTを活用した授業の実施		あなたの学校では、今年度、次のような取り組みを実施していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
7	2.1	21.8	42.6	33.9	1.7				0.0
8	2.2	16.2	58.3	24.3	1.1				0.0
9	2.3	5.9	33.4	44.1	16.7				0.0
10	2.4	16.2	25.1	39.7	19.0				0.0
11	2.5	5.9	37.4	48.2	8.5				0.0
3 情報活用能力の育成と情報モラル教育への対応		あなたの学校では、今年度、次のような取り組みを実施していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
12	3.1	22.7	50.8	22.0	4.6				0.0
13	3.2	13.1	37.8	45.2	3.9				0.0
14	3.3	5.2	49.2	45.0	0.6				0.0
15	3.4	25.2	42.8	27.4	4.5				0.0
16	3.5	5.2	36.7	52.9	5.1				0.0
17	3.6	1.9	11.7	53.3	33.1				0.0
18	3.7	7.5	13.8	49.2	29.5				0.0
19	3.8	15.1	40.8	38.9	4.6				1.0
20	3.9	38.0	49.3	12.2	0.4				0.0
4 校務の情報化と情報セキュリティへの対応		あなたの学校では、今年度、次のような取り組みを実施していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
21	4.1	38.9	51.6	9.4	0.0				0.0
22	4.2	38.2	43.7	17.0	1.1				0.0
23	4.3	50.1%	43.3	5.4	1.1				0.0
24	4.4	26.7	54.0	19.3	0.0				0.0
5 保護者・地域・学校外への広報・説明責任		あなたの学校では、今年度、次のような取り組みを実施していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
25	5.1	41.1	24.7	25.6	8.7				0.0
26	5.2	50.4	40.1	5.2	4.3				0.0
6 児童生徒に対する指導		児童生徒に対する指導について、あなたの学校の状況にもっとも近いものを○で囲んでください。							
	項目	1 よくしている	2 どちらかといえばしている	3 どちらかといえばしていない	4 していない				無回答
27	6.1	64.7	34.5	0.8	0.0				0.0
28	6.2	79.0	13.0	4.3	3.7				0.0
29	6.3	17.5	49.0	32.3	1.1				0.0

7 学校全体方針			あなたの学校では、次のような取り組みをどの程度重視していますか。あなたの学校の状況に最も近いものを○で囲んでください。							
30	7.1	きめ細やかな指導を通じて確かな学力の向上を図る	80.7	19.3	0.0	0.0				0.0
31	7.2	思考力・判断力・表現力等を育成する指導の充実を図る	60.4	38.0	0.9	0.0				1.0
32	7.3	課題解決型の授業の充実を図る	46.4	45.0	8.6	0.0				0.0
33	7.4	今日的な実社会の課題を扱った学習や体験的な学習の充実を図る	30.1	63.5	6.4	0.0				0.0
34	7.5	児童や生徒同士がともに教え学び合う協働的な学習の機会の充実を図る	55.4	37.1	7.4	0.0				0.0
35	7.6	各教科でICT機器を効果的に活用して学習効果を高める場面を設定する	11.9	51.6	34.4	2.0				0.0
36	7.7	各教科で情報活用能力が必要な場面の設定を図る	4.8	49.8	42.3	2.9				0.3
37	7.8	観点別評価に基づいて多様な観点から評価を行う	52.2	42.4	5.5	0.0				0.0
38	7.9	学習する意義について児童生徒が考える機会を設ける	38.1	53.2	7.9	0.0				0.8
8 その他			あなたの学校で情報教育を推進するにあたり、課題となっていることはなにかですか。最も近いものを1つ選んで○で囲んでください。							
項目			1 校内LANやインターネットなど接続環境の整備	2 校内の指導体制の整備	3 教員のICT活用技能	4 教員の指導力の向上	5 教員のICT活用に関する意識醸成	6 教育用コンテンツなどの整備	7 コンピュータなどハード環境整備	無回答
39	8.1	あなたの学校で情報教育を推進するにあたり、課題となっていることはなにかですか。最も近いものを1つ選んで○で囲んでください。	7.0	7.8	25.5	11.1	25.4	8.5	13.8	0.8

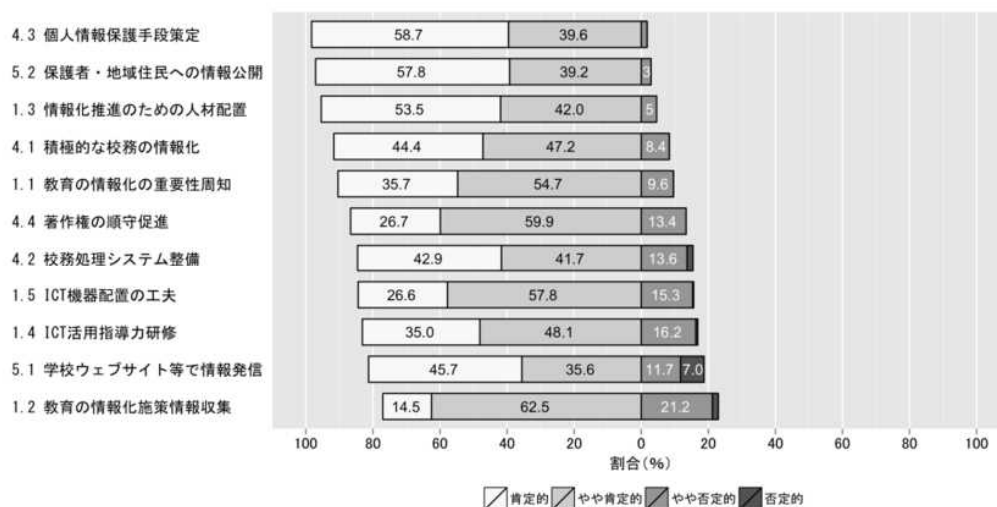
図表 3-2-2a 学校情報化度（学校用質問紙・小中比較）

※A層：35.75点以上44点以下 B層：27.5点以上35.75点未満

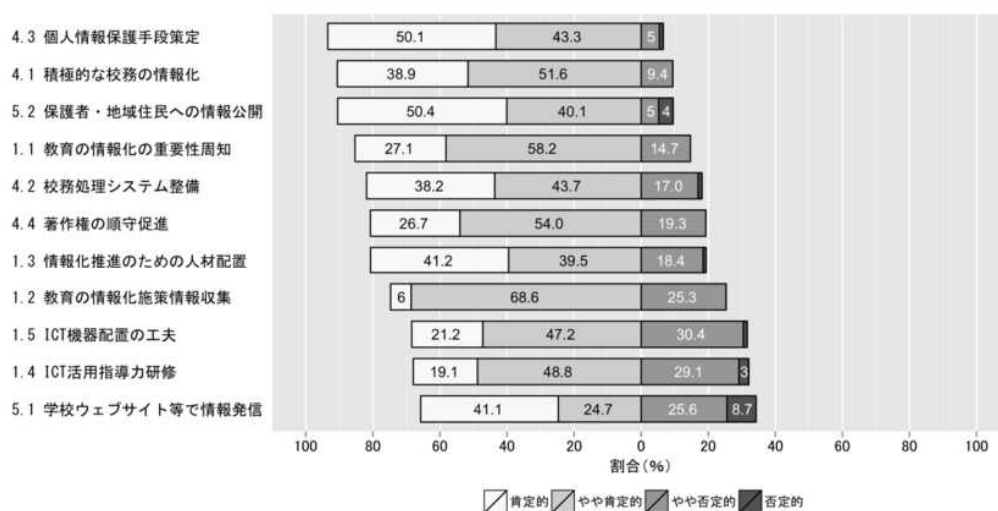
C層：19.25点以上27.5点未満 D層：11点以上19.25点未満



図表 3-2-2b 学校情報化度（学校用質問紙・小学校）



図表 3-2-2c 学校情報化度（学校用質問紙・中学校）

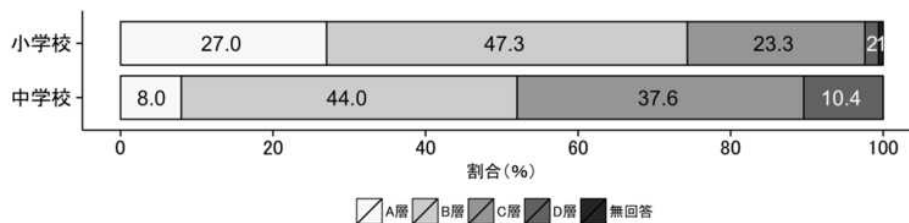


図表 3-2-2d 学校情報化度（学校用質問紙・選択肢）

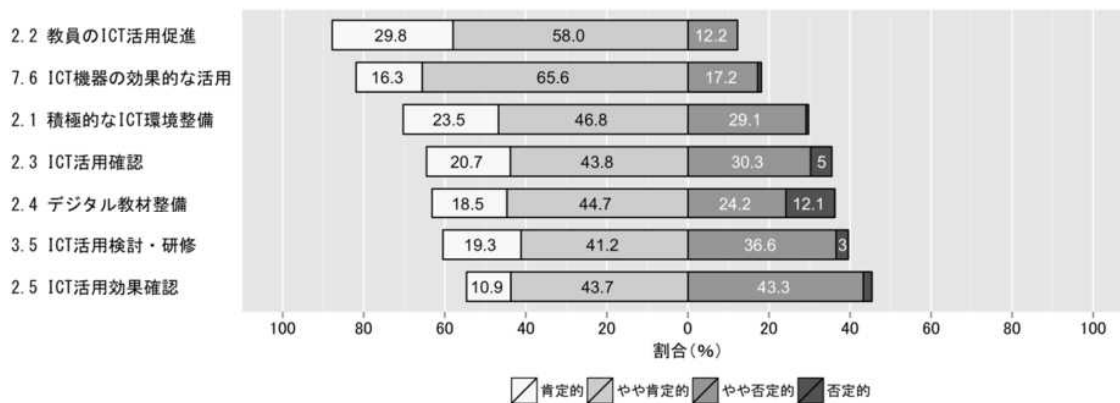
凡例	肯定的	やや肯定的	やや否定的	否定的
選択肢	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない

図表 3-2-3a 授業 ICT 度（学校用質問紙・小中比較）

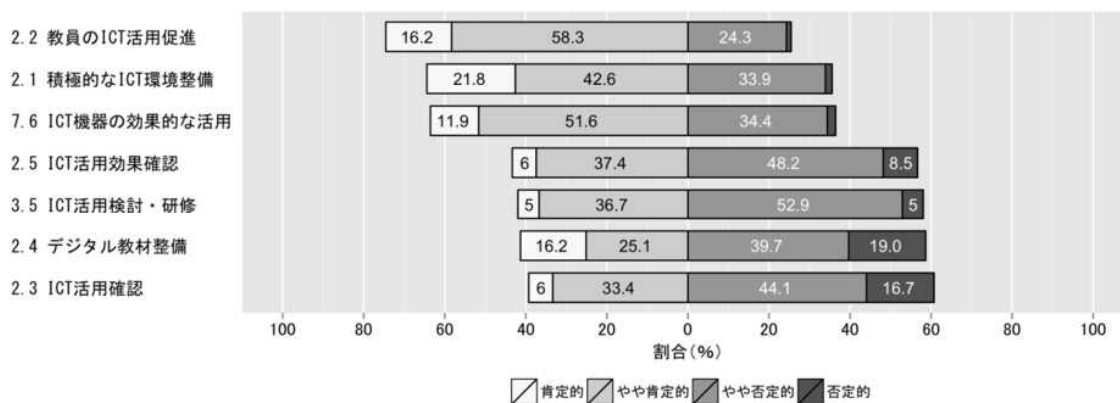
※A層：22.75 点以上 28 点以下 B層：17.5 点以上 22.75 点未満
 C層：12.25 点以上 17.5 点未満 D層：7 点以上 12.25 点未満



図表 3-2-3b 授業 ICT 度（学校用質問紙・小学校）



図表 3-2-3c 授業 ICT 度（学校用質問紙・中学校）



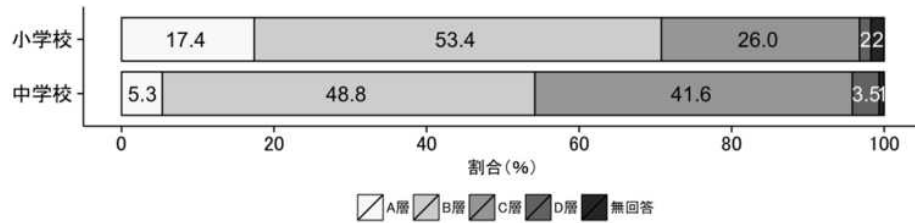
図表 3-2-3d 授業 ICT 度（学校用質問紙・選択肢）

凡例	肯定的	やや肯定的	やや否定的	否定的
選択肢	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
選択肢 (7.6)	重視している	どちらかといえば 重視している	どちらかといえば 重視していない	重視していない

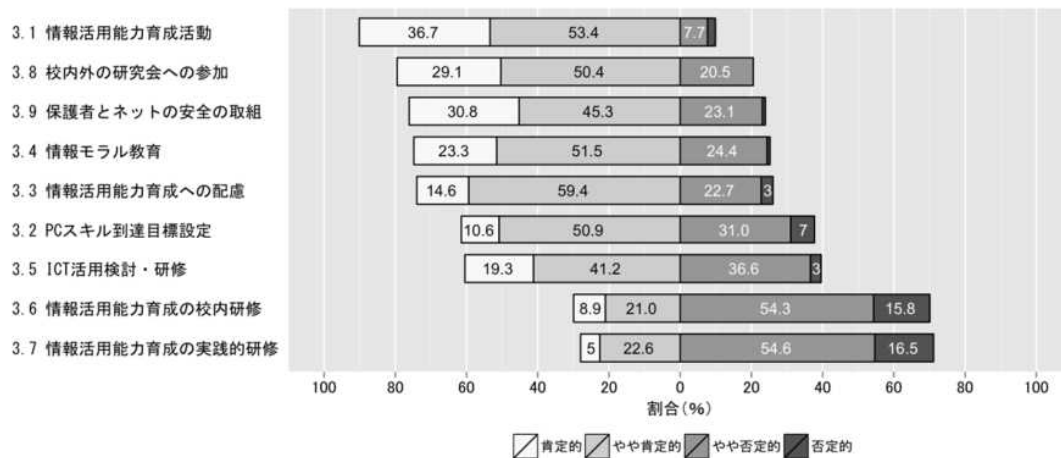
図表 3-2-4a 情報教育度（学校用質問紙・小中比較）

※A層：29.25点以上36点以下 B層：22.5点以上29.25点未満

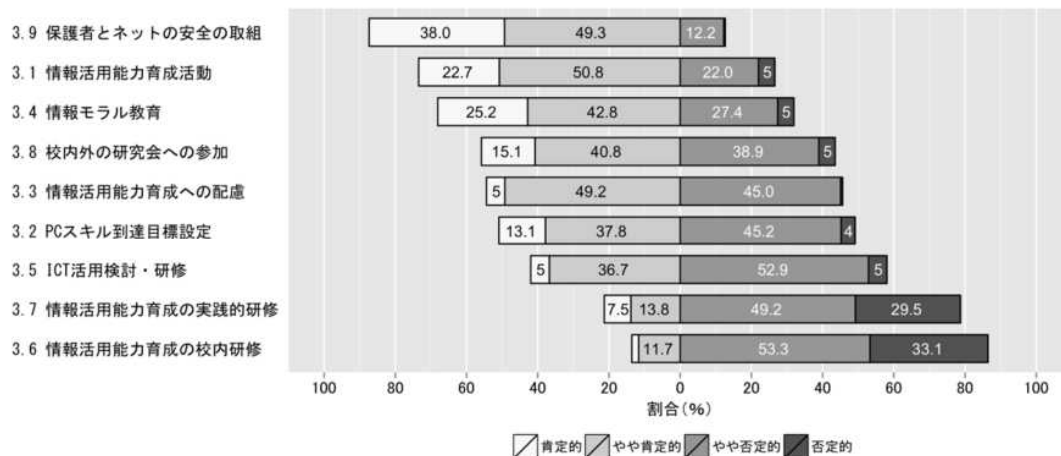
C層：15.75点以上22.5点未満 D層：9点以上15.75点未満



図表 3-2-4b 情報教育度（学校用質問紙・小学校）



図表 3-2-4c 情報教育度（学校用質問紙・中学校）



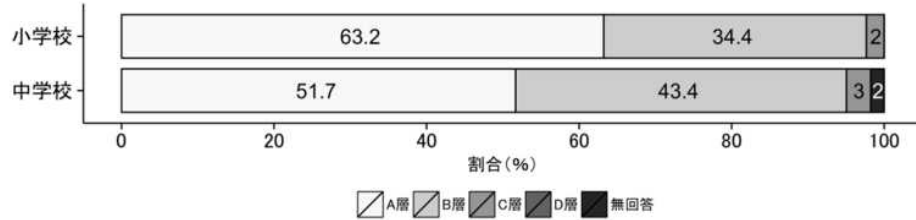
図表 3-2-4d 情報教育度（学校用質問紙・選択肢）

凡例	肯定的	やや肯定的	やや否定的	否定的
選択肢	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない

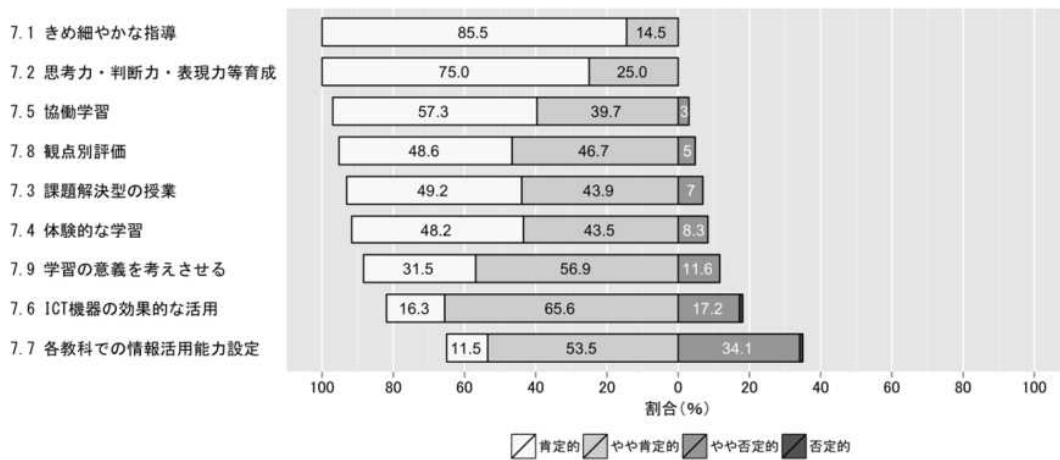
図表 3-2-5a 学校方針（学校用質問紙・小中比較）

※A層：29.25点以上36点以下 B層：22.5点以上29.25点未満

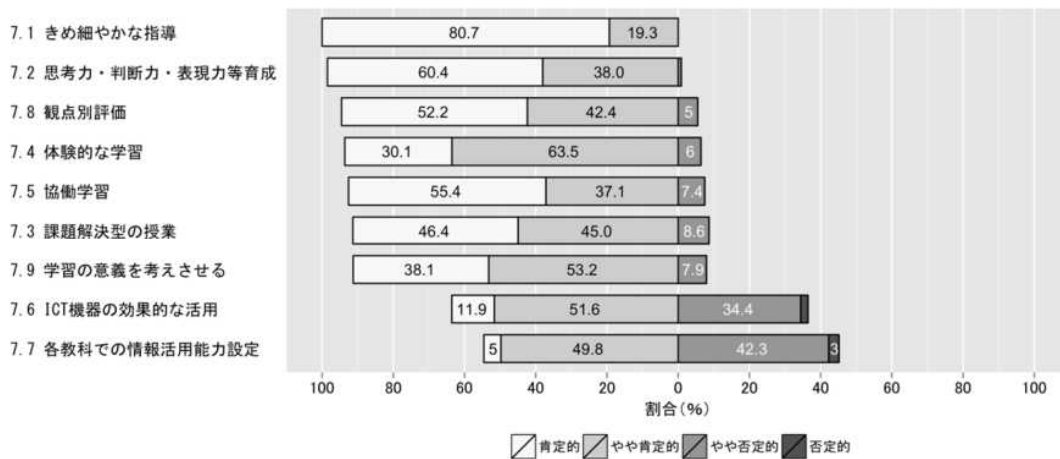
C層：15.75点以上22.5点未満 D層：9点以上15.75点未満



図表 3-2-5b 学校方針（学校用質問紙・小学校）



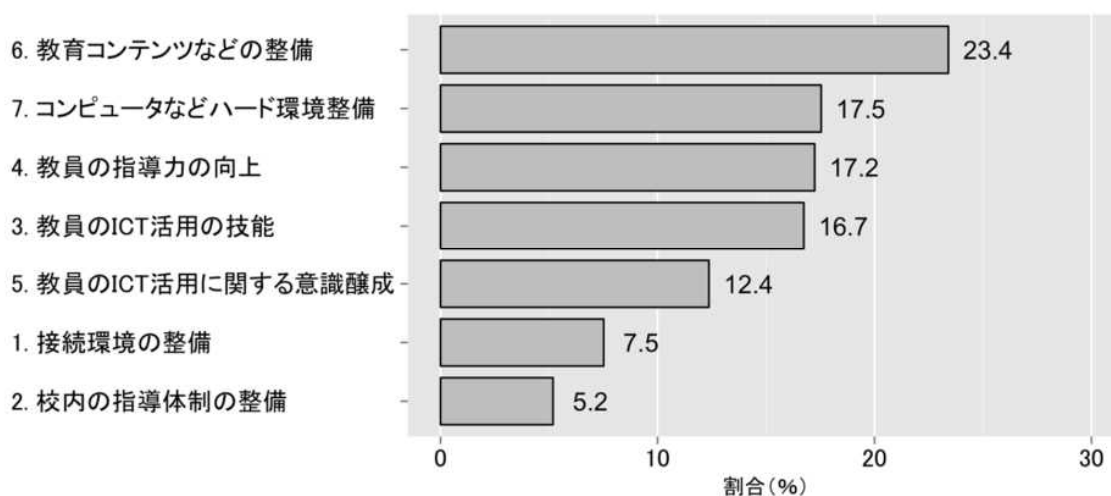
図表 3-2-5c 学校方針（学校用質問紙・中学校）



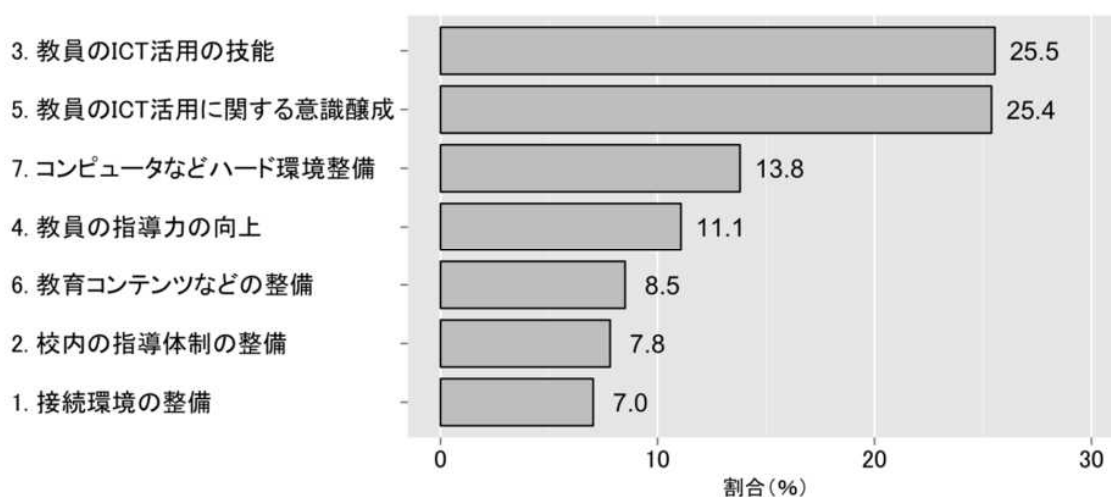
図表 3-2-5d 学校方針（学校用質問紙・選択肢）

凡例	肯定的	やや肯定的	やや否定的	否定的
選択肢	重視している	どちらかといえば重視している	どちらかといえば重視していない	重視していない

図表 3-2-6a あなたの学校で情報教育を推進するにあたり、課題となっていることはなにですか。(学校用質問紙・小学校)



図表 3-2-6b あなたの学校で情報教育を推進するにあたり、課題となっていることはなにですか。(学校用質問紙・中学校)



3-2-2 教師用質問紙調査

教員に対する質問紙調査は、情報活用能力調査を受検した児童生徒の指導にあたる教員を対象に、情報活用能力に関する指導方法等の背景を探ることを目的として行われた。小学校は調査対象学級の担任1名、中学校は調査対象学級の担任（道徳，特別活動），各教科及び総合的な学習の時間の授業を担当している教員の計12名が回答した。

調査項目数は、小学校61項目、中学校57項目であった。「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」や「学びのイノベーション事業」における質問調査との対応に配慮するとともに、情報活用能力調査のための独自項目も設定した。

校種別の反応率を示したものが図表3-2-7aおよび図表3-2-7bである。各調査項目の多くは、肯定的ーやや肯定的ーやや否定的ー否定的という4件法による回答とした。

ICT環境整備状況に関する項目を設問番号順に並べて示した結果が図表3-2-8aおよび図表3-2-8bである。ICT環境整備状況については、小学校の方が中学校よりも教室への常設が進んでいる傾向が見られた。

図表3-2-9a, 図表3-2-10a, 図表3-2-10bは、カテゴリーごとに小学校と中学校の結果を比較して示した結果である。

情報教育授業実施状況のカテゴリーでは、小学校、中学校ともにほとんどの教員がC層とD層に分布しており、とりわけ中学校においてはD層の教員が半数を超えているなど、指導が十分ではない現状が示された。ただし、小学校は学級担任制であるのに対し、中学校は教科担任制のため、中学校は12名の教員が回答しているので、同じ頻度の回答でも生徒にとってはその回答を合わせた頻度で実施されていることになる。情報教育授業実施状況に関する項目の回答を設問番号順に並べて示した結果が図表3-2-9bおよび図表3-2-9fである。小学校、中学校ともにプログラミングについても実施している教員は極めて少なかった。図表3-2-9c, 図表3-2-9d, 図表3-2-9eは小学校のみのICTの基本的な操作の学習に関する質問の結果である。

情報活用能力の指導力に関する項目を肯定的な回答の割合が高かった調査項目から順に並べ直して示した結果が図表3-2-10cおよび図表3-2-10gである。図表3-2-10d, 図表3-2-10e, 図表3-2-10fは小学校のみのICTの基本的な操作の学習に関する質問の結果である。具体的な指導内容ごとに見ると、小学校では主としてICTの基本的な操作の学習に対して教員が肯定的な回答をした割合がもっとも高く、次いで情報モラル等に関する学習が高かった。中学校では、情報モラル等に関する学習に対する項目の実施について、肯定的な回答をした教員が多かった。図表3-2-10hは選択肢を示した表である。

ICT活用効果実感に関する項目を設問番号順に並べて示した結果が図表3-2-11aおよび図表3-2-11bである。小学校、中学校ともに、ICT活用が思考力や判断力の育成につながるとは考えていない教員が多かった。ICT活用の効果の実感としては、児童生徒の学習への関心の向上を認める教員がもっとも多かった。

図表 3-2-7a 教員に対する質問調査の結果（小学校 最も反応率の高い選択肢に●）

小学校(教師数:116)									
小項目			選択肢別反応率(%)						
1 教育ICT環境の状況			次のことについて、調査対象学級において授業をする場合、どの程度の整備状況にありますか。最も当てはまるものを1つ選んで○を付けてください。						
項目	1 教室に常設 されている	2 学年やフロ アで共有し ている	3 学校全体で 共有してい る	4 整っていない			無回答		
1	1.1	児童生徒用コンピュータ(コンピュータ室を除く)	11.2	3.4	38.8	45.7		0.9	
2	1.2	教師用コンピュータ	42.2	14.7	31.9	11.2		0.0	
3	1.3	実物投影機	21.6	22.4	50.9	4.3		0.9	
4	1.4	プロジェクタや大型ディスプレイなどの提示用装置	21.6	20.7	56.9	0.9		0.0	
5	1.5	電子黒板	5.2	12.9	56.9	25.0		0.0	
6	1.6	デジタル教材などの教育用コンテンツ(有償のものに限る)	14.7	12.1	45.7	25.9		1.7	
7	1.7	校内LAN(インターネット)などの接続環境	69.0	2.6	16.4	11.2		0.9	
2 ICTを活用した授業および情報活用能力を育成する授業の実践状況			あなたは、次のことについて、調査対象学級の今年度の授業において、児童にどの程度指導を行っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○を付けてください。						
項目	1 週1回以上	2 月1回以上	3 学期に1回 以上	4 ほとんど 行っていない	5 全く行っ ていない	6 前学年まで に指導して いる	無回答		
8	2.1	キーボードなどによる文字入力の学習を行わせること	0.9	21.6	39.7	12.1	4.3	21.6	0.0
9	2.2	電子ファイルの保存・整理を行わせること	0.0	6.9	24.1	31.9	29.3	7.8	0.0
10	2.3	インターネットの閲覧や電子メールの送受信を行わせること	0.9	33.6	41.4	12.1	7.8	3.4	0.9
項目	1 週1回以上	2 月1回以上	3 学期に1回 以上	4 ほとんど 行っていない	5 全く行っ ていない		無回答		
11	2.4	目的に応じて情報収集方法を検討し、実際に情報収集をさせること	2.6	33.6	53.4	7.8	2.6		0.0
12	2.5	目的に応じて必要な情報を読み取らせたり、情報の客観性、信頼性、妥当性を読み取らせたりすること	1.7	19.8	38.8	31.9	7.8		0.0
13	2.6	収集した情報を分類・要約するなどしながら整理させること	0.0	14.7	48.3	25.9	11.2		0.0
14	2.7	表計算ソフトで表やグラフなどにまとめること	0.0	0.0	4.3	24.1	71.6		0.0
15	2.8	情報を整理・処理するなどしながら解釈させること	0.0	7.8	29.3	33.6	29.3		0.0
16	2.9	整理・処理・解釈した情報をもとに、情報を比較・関連付させたり、多角的に考察させたりするなどして判断させること	0.0	4.3	30.2	36.2	29.3		0.0
17	2.10	集めた情報と、自分の知識・経験をもとに、新たな情報や価値ある情報を創造し提案させること	0.9	6.0	33.6	41.4	18.1		0.0
18	2.11	情報をよりよく解釈するために考えていることを可視化するなど、自分の考えを表現させること	2.6	5.2	36.2	32.8	23.3		0.0
19	2.12	コンピュータやプレゼンテーションソフトなどを活用して、発表内容を工夫させたり、効果的に表現させたりすること	0.0	2.6	20.7%	31.0	45.7		0.0
20	2.13	電子黒板などの提示用装置を使用して発表させること	5.2	3.4	18.1	27.6	45.7		0.0
21	2.14	受け手の状況などを踏まえて、わかりやすく情報を発信するとともに、情報手段の特性に応じた伝達及び円滑なコミュニケーションを行わせること	3.4	1.7	27.6	31.0	34.5		1.7
22	2.15	コンピュータなどを活用して、児童同士が教え合い学び合う学習(協働学習)を行わせること	4.3	3.4	31.9	33.6	26.7		0.0
23	2.16	コンピュータなどを活用して、児童に課題発見・解決型の学習を行わせること	2.6	12.9	33.6	29.3	19.8		1.7
24	2.17	コンピュータなどを活用して、児童に漢字や計算などの繰り返し学習を行わせること	0.0	0.9	19.8	35.3	43.1		0.9
25	2.18	コンピュータなどを活用して、児童の学習内容の習熟の程度や興味・関心に応じて学習させるなどの、個に応じて学習を行わせること	0.0	4.3	15.5	36.2	44.0		0.0
26	2.19	ゲームを作ったり、ロボットを動かしたりするなどのプログラミングを行わせること	0.0	0.0	1.7	12.9	85.3		0.0
27	2.20	学習活動の記録や成果物を利用して、学習や活動について振り返り(自己評価や仲間同士での相互評価をしながら新たな課題や改善点に気づかせること	5.2	11.2	16.4	28.4	38.8		0.0

3 児童にICTを活用させる指導力および情報活用能力を育成するための指導力			あなたは、次のことについて、授業において児童をどの程度指導することができますか。最も近いものを1つ選んで○を付けてください。				
項目			1 指導できる	2 どちらかという と指導できる	3 どちらかという と指導できない	4 指導できない	無回答
28	3.1	キーボードなどによる文字入力の学習を行わせること	68.1	31.0	0.9	0.0	0.0
29	3.2	電子ファイルの保存・整理を行わせること	56.9	35.3	6.9	0.9	0.0
30	3.3	インターネットの閲覧や電子メールの送受信を行わせること	50.9	44.0	4.3	0.9	0.0
31	3.4	目的に応じて情報収集方法を検討し、実際に情報収集をさせること	48.3	44.8	6.9	0.0	0.0
32	3.5	目的に応じて必要な情報を読み取らせたり、情報の客観性、信頼性、妥当性を読み取らせたりすること	25.9	59.5	12.9	1.7	0.0
33	3.6	収集した情報を分類・要約するなどしながら整理させること	19.0	59.5	20.7	0.9	0.0
34	3.7	表計算ソフトで表やグラフなどにまとめさせる	21.6	34.5	30.2	13.8	0.0
35	3.8	情報を整理・処理するなどしながら解釈させること	13.8	59.5	21.6	5.2	0.0
36	3.9	整理・処理・解釈した情報をもとに比較・関連付けさせたり、多角的に考察させたりするなどして判断させること	9.5	57.8	26.7	6.0	0.0
37	3.10	集めた情報と、自分の知識・経験をもとに、新たな情報や価値ある情報を創造し提案させること	8.6	52.6	30.2	7.8	0.9
38	3.11	情報をよりよく解釈するために考えていることを可視化するなど、自分の考えを表現させること	13.8	52.6	25.9	7.8	0.0
39	3.12	コンピュータやプレゼンテーションソフトなどを活用して、発表内容を工夫させたり、効果的に表現させたりすること	25.0	40.5	25.9	8.6	0.0
40	3.13	電子黒板などの提示用装置を使用して発表させること	22.4	31.0	30.2	16.4	0.0
41	3.14	受け手の状況などを踏まえて、わかりやすく情報を発信するとともに、情報手段の特性に応じた伝達及び円滑なコミュニケーションを行わせること	9.5	50.0	31.9	8.6	0.0
42	3.15	コンピュータなどを活用して、児童同士が教え合い学び合う学習(協働学習)を行わせること	11.2	49.1	33.6	6.0	0.0
43	3.16	コンピュータなどを活用して、児童に課題発見・解決型の学習を行わせること	12.1	50.9	31.0	6.0	0.0
44	3.17	コンピュータなどを活用して、児童に漢字や計算などの繰り返し学習を行わせること	25.0	54.3	15.5	5.2	0.0
45	3.18	コンピュータなどを活用して、児童の学習内容の習熟の程度や興味・関心に応じて学習させるなどの、個に応じて学習を行わせること	14.7	45.7	31.0	8.6	0.0
46	3.19	ゲームを作ったり、ロボットを動かしたりするなどのプログラミングを行わせること	0.9	2.6	18.1	78.4	0.0
47	3.20	学習活動の記録や成果物を活用して、学習や活動について振り返り(自己評価や仲間同士での相互評価を)しながら新たな課題や改善点に気づかせること	16.4	45.7	25.9	12.1	0.0
4 情報の科学的な理解及び情報社会に参画する態度			あなたは、次のことについて、授業において児童をどの程度指導することができますか。最も近いものを1つ選んで○を付けてください。				
項目			1 指導できる	2 どちらかという と指導できる	3 どちらかという と指導できない	4 指導できない	無回答
48	4.1	発信する情報や情報社会での行動に責任を持ち、相手のことを考えた情報のやりとりをさせること	37.9	56.0	4.3	1.7	0.0
49	4.2	児童生徒が情報社会の一員としてルールやマナーを守って、情報を集めたり発信させたりすること	38.8	55.2	5.2	0.9	0.0
50	4.3	インターネットなどを利用する際に、情報の誤認性や危険性などを理解させること	44.8	50.0	4.3	0.9	0.0
51	4.4	インターネットなどを利用する際に、健康面に気を付けて活用させること	45.7	48.3	4.3	1.7	0.0
52	4.5	パスワードや個人情報の大切さなど、情報セキュリティの基本的な知識を身に付けさせること	38.8	47.4	12.1	1.7	0.0
53	4.6	インターネットの基本的な特性について理解させること	37.1	52.6	9.5	0.9	0.0
54	4.7	児童生徒が自らの情報活用の過程や成果を振り返ることを通じて、情報活用の問題点を指摘させること	18.1	44.0	31.0	6.9	0.0
55	4.8	情報技術が果たす役割や及ぼす影響について理解させること	22.4	48.3	25.0	4.3	0.0
56	4.9	情報社会の一員としての自覚をもち、自他の権利を尊重しながら情報社会に参画する態度を育成させること	27.6	49.1	19.0	4.3	0.0
5 授業におけるICTの活用効果の実感			あなたは、次のことについて、ICTを活用することで、効果が上がったと思いますか。最も近いものを1つ選んで○を付けてください。				
項目			1 そう思う	2 どちらかとい えばそう思 う	3 どちらかとい えばそう思 わない	4 そう思わな い	無回答
57	5.1	児童生徒のICTを活用する技能が身に付いた	19.8	69.8	8.6	1.7	0.0
58	5.2	児童生徒の思考力が身に付いた	7.8	37.1	50.0	5.2	0.0
59	5.3	児童生徒の判断力が身に付いた	5.2	40.5	50.9	3.4	0.0
60	5.4	児童生徒の表現力が身に付いた	7.8	49.1	39.7	3.4	0.0
61	5.5	児童生徒の学習への興味・関心が高まった	49.1	45.7	4.3	0.9	0.0

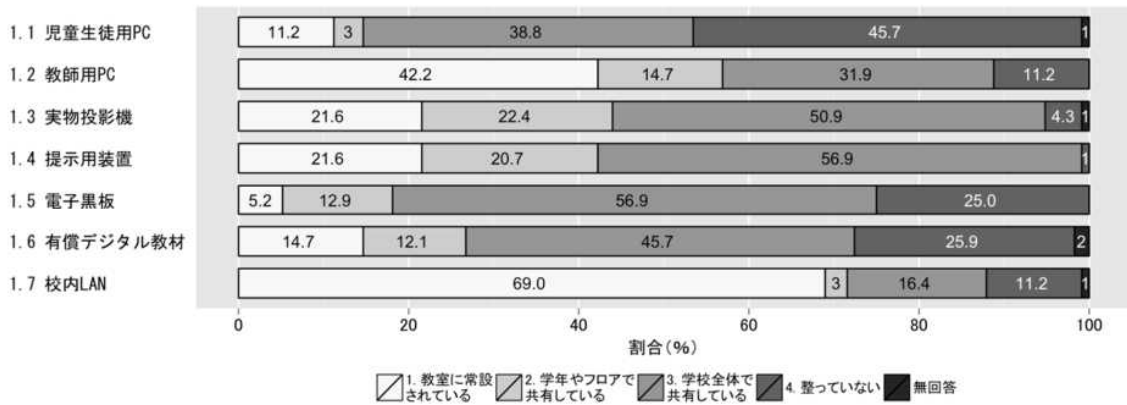
図表 3-2-7b 教員に対する質問調査の結果（中学校 最も反応率の高い選択肢に●）

※12種の合計の反応率を掲載している。なお、「1 教育 ICT 環境の状況」は調査対象学級の担任1名が回答した。

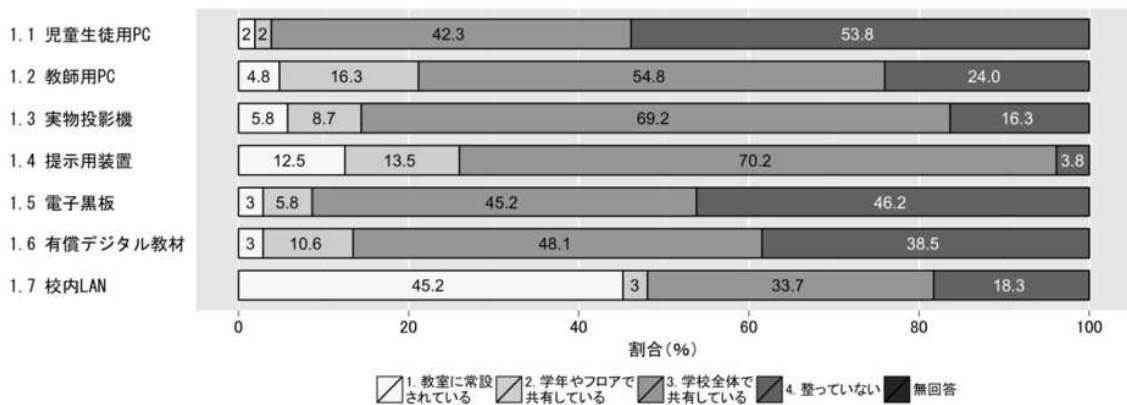
小項目			選択肢別反応率(%)					
1 教育ICT環境の状況			次のことについて、調査対象学級において授業をする場合、どの程度の整備状況にありますか。最も近いものを1つ選んで○を付けてください。					
項目	1 教室に常設されている	2 学年やフロアで共有している	3 学校全体で共有している	4 整っていない		無回答		
1	1.1	児童生徒用コンピュータ(コンピュータ室を除く)	1.9	1.9	42.3	53.8	0.0	
2	1.2	教師用コンピュータ	4.8	16.3	54.8	24.0	0.0	
3	1.3	実物投影機	5.8	8.7	69.2	16.3	0.0	
4	1.4	プロジェクタや大型ディスプレイなどの提示用装置	12.5	13.5	70.2	3.8	0.0	
5	1.5	電子黒板	2.9	5.8	45.2	46.2	0.0	
6	1.6	デジタル教材などの教育用コンテンツ(有償のものに限る)	2.9	10.6	48.1	38.5	0.0	
7	1.7	校内LAN(インターネット)などの接続環境	45.2	2.9	33.7	18.3	0.0	
2 ICTを活用した授業および情報活用能力を育成する授業の実践状況			あなたは、次のことについて、調査対象学級の今年度の授業において、生徒にどの程度指導を行っていますか。最も近いものを1つ選んで○を付けてください。					
項目	1 週1回以上	2 月1回以上	3 学期に1回以上	4 ほとんど行っていない	5 全く行っていない	無回答		
8	2.1	目的に応じて、必要となる情報手段を適切に選択させ、活用させること	5.2	11.3	31.7	32.4	18.8	0.6
9	2.2	目的に応じて情報収集方法を検討し、実際に情報収集をさせること	2.8	8.9	33.0	35.2	19.9	0.2
10	2.3	目的に応じて必要な情報を読み取らせたり、情報の客観性、信頼性、妥当性を読み取らせたりすること	4.0	11.8	29.9	33.4	20.1	0.8
11	2.4	収集した情報を分類・要約するなどしながら整理させること	3.8	11.9	33.0	30.9	20.0	0.4
12	2.5	情報を、コンピュータを使ってグラフ化して分析させたり、統計的に処理させたり、シミュレーションさせたりすること	0.6	2.0	7.2	29.1	60.9	0.2
13	2.6	情報を整理・処理するなどしながら解釈させること	3.8	9.9	23.3	33.2	29.6	0.2
14	2.7	整理・処理・解釈した情報をもとに、情報を比較・関連付けさせたり、多角的に考察させたりするなどして判断させること	2.2	10.9	21.7	34.9	30.0	0.2
15	2.8	集めた情報と、自分の知識・経験をもとに、新たな情報や価値ある情報を創造し提案させること	2.2	9.2	22.4	37.4	28.5	0.2
16	2.9	情報をよりよく解釈するために考えていることを可視化するなど、自分の考えを表現させること	4.1	10.3	29.5	30.8	24.9	0.3
17	2.10	コンピュータやプレゼンテーションソフトなどを活用して、発表内容を工夫させたり、効果的に表現させたりすること。	1.0	3.1	12.8	27.1	55.8	0.2
18	2.11	電子黒板などの提示用装置を使用して発表させること	0.9	2.3	7.2	19.2	70.2	0.2
19	2.12	受け手の状況などを踏まえて、わかりやすく情報を発信するとともに、情報手段の特性に応じた伝達及び円滑なコミュニケーションを行わせること	2.3	7.4	22.1	32.5	34.5	1.2
20	2.13	コンピュータなどを活用して、生徒同士が教え合い学び合う学習(協働学習)を行わせること	1.2	4.5	10.7	24.7	58.7	0.2
21	2.14	コンピュータなどを活用して、生徒に課題発見・解決型の学習を行わせること	1.0	3.2	15.1	23.2	57.1	0.3
22	2.15	コンピュータなどを活用して、生徒に漢字や計算などの学習を繰り返し行わせること	0.8	1.4	3.9	20.7	73.1	0.2
23	2.16	コンピュータなどを活用して、生徒の学習内容の習熟の程度や興味・関心に応じて学習させるなど、個に応じて学習を行わせること	1.0	2.4	7.7	23.2	65.3	0.3
24	2.17	ゲームを作ったり、ロボットを動かしたりするなどのプログラミングを行わせること	0.3	1.0	3.3	11.1	84.1	0.2
25	2.18	学習活動の記録や成果物を活用して、学習や活動について振り返り(自己評価や仲間同士での相互評価)ながら新たな課題や改善点に気づかせること	6.5	11.2	26.2	23.5	32.1	0.6

3 生徒にICTを活用させる指導力および情報活用能力を育成するための指導力			あなたは、次のことについて、授業において生徒にどの程度指導することができますか。最も近いものを1つ選んで○を付けてください。				
項目			1 指導できる	2 どちらかという と指導できる	3 どちらかとい うと指導でき ない	4 指導できない	無回答
26	3.1	目的に応じて、必要となる情報手段を適切に選択させ、活用させること	13.6	55.3	25.2	5.9	0.0
27	3.2	目的に応じて情報収集方法を検討し、実際に情報収集をさせること	15.9	54.8	23.1	6.2	0.0
28	3.3	目的に応じて必要な情報を読み取らせたり、情報の客観性、信頼性、妥当性を読み取らせたりすること	12.7	51.8	27.2	8.2	0.0
29	3.4	収集した情報を分類・要約するなどしながら整理させること	15.1	54.2	23.2	7.3	0.2
30	3.5	情報を、コンピュータを使ってグラフ化して分析させたり、統計的に処理させたり、シミュレーションさせたりすること	10.7	27.6	34.9	26.8	0.0
31	3.6	情報を整理・処理するなどしながら解釈させること	11.5	47.1	30.0	11.4	0.1
32	3.7	整理・処理・解釈した情報をもとに比較・関連付けさせたり、多角的に考察させたりするなどして判断させること	8.6	45.9	34.0	11.5	0.1
33	3.8	集めた情報と、自分の知識・経験をもとに、新たな情報や価値ある情報を創造し提案させること	9.2	45.3	34.1	11.2	0.2
34	3.9	情報をよりよく解釈するために考えていることを可視化するなど、自分の考えを表現させること	10.7	47.9	30.1	11.2	0.0
35	3.10	コンピュータやプレゼンテーションソフトなどを活用して、発表内容を工夫させたり、効果的に表現させたりすること	16.7	36.9	25.4	20.7	0.2
36	3.11	電子黒板などの提示用装置を使用して発表させること	9.6	21.7	31.4	37.0	0.2
37	3.12	受け手の状況などを踏まえて、わかりやすく情報を発信するとともに、情報手段の特性に応じた伝達及び円滑なコミュニケーションを行わせること	8.5	42.3	33.3	15.5	0.5
38	3.13	コンピュータなどを活用して、生徒同士が教え合い学び合う学習(協働学習)を行わせること	7.5	31.3	37.3	23.7	0.2
39	3.14	コンピュータなどを活用して、生徒に課題発見・解決型の学習を行わせること	6.8	32.1	38.8	22.0	0.2
40	3.15	コンピュータなどを活用して、生徒に漢字や計算などの繰り返し学習を行わせること	10.7	31.7	33.6	23.8	0.2
41	3.16	コンピュータなどを活用して、生徒の学習内容の習熟の程度や興味・関心に応じて学習させるなど、個に応じて学習を行わせること	7.4	30.7	37.5	24.2	0.2
42	3.17	ゲームを作ったり、ロボットを動かしたりするなどのプログラミングを行わせること	4.6	8.2	23.4	63.5	0.2
43	3.18	学習活動の記録や成果物を活用して、学習や活動について振り返り(自己評価や仲間同士での相互評価)ながら新たな課題や改善点に気づかせること	12.4	43.8	26.4	16.8	0.6
4 情報の科学的な理解及び情報社会に参画する態度			あなたは、次のことについて、授業において生徒にどの程度指導することができますか。もっとも近いものを1つ選んで○で囲んでください。				
項目			1 指導できる	2 どちらかとい うと指導できる	3 どちらかとい うと指導でき ない	4 指導できない	無回答
44	4.1	発信する情報や情報社会での行動に責任を持ち、相手のことを考えた情報のやりとりをさせること	19.7	57.4	17.9	4.6	0.4
45	4.2	児童生徒が情報社会の一員としてルールやマナーを守って、情報を集めたり発信させたりすること	21.9	58.4	15.6	3.8	0.3
46	4.3	インターネットなどを利用する際に、情報の誤認性や危険性などを理解させること	26.1	54.0	16.1	3.4	0.3
47	4.4	インターネットなどを利用する際に、健康面に気を付けて活用させること	22.0	55.4	17.9	4.4	0.3
48	4.5	パスワードや個人情報の大切さなど、情報セキュリティの基本的な知識を身に付けさせること	22.3	47.8	22.9	6.7	0.3
49	4.6	インターネットの特性と影響について理解させること	21.8	49.4	23.2	5.3	0.2
50	4.7	児童生徒が自らの情報活用の過程や成果を振り返ることを通じて、情報活用の問題点を指摘させること	11.2	44.0	35.8	8.6	0.4
51	4.8	情報技術が果たす役割や及ぼす影響について理解させること	14.7	48.2	29.3	7.5	0.3
52	4.9	情報社会の一員としての自覚をもち、自他の権利を尊重しながら情報社会に参画する態度を育成させること	15.1	52.9	25.2	6.6	0.3
5 授業におけるICTの活用効果の実感			あなたは、次のことについて、ICTを活用することで、効果が上がったと思いますか。最も近いものを1つ選んで○を付けてください。				
項目			1 そう思う	2 どちらかとい えばそう思 う	3 どちらかとい えばそう思 わない	4 そう思わな い	無回答
53	5.1	児童生徒のICTを活用する技能が身に付いた	6.8	42.1	30.6	17.5	3.0
54	5.2	児童生徒の思考力が身に付いた	2.1	28.2	48.3	18.4	3.0
55	5.3	児童生徒の判断力が身に付いた	1.5	27.6	49.5	18.3	3.0
56	5.4	児童生徒の表現力が身に付いた	5.4	35.4	39.0	17.1	3.0
57	5.5	児童生徒の学習への興味・関心が高まった	17.2	51.4	16.7	11.7	3.0

図表 3-2-8a ICT 環境整備状況（教師用質問紙・小学校）



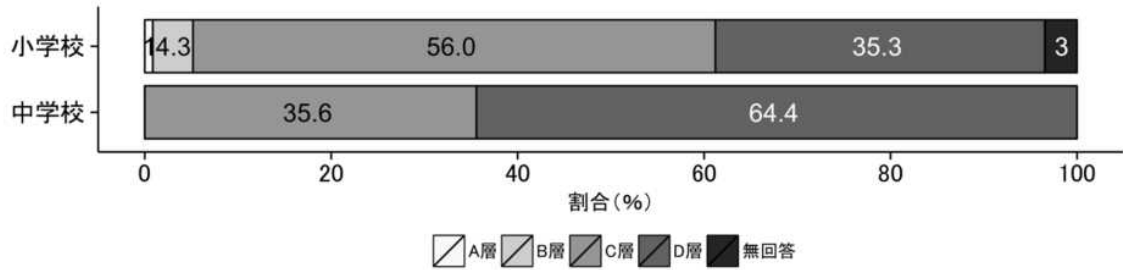
図表 3-2-8b ICT 環境整備状況（教師用質問紙・中学校）※中学校は学級担任のみ回答



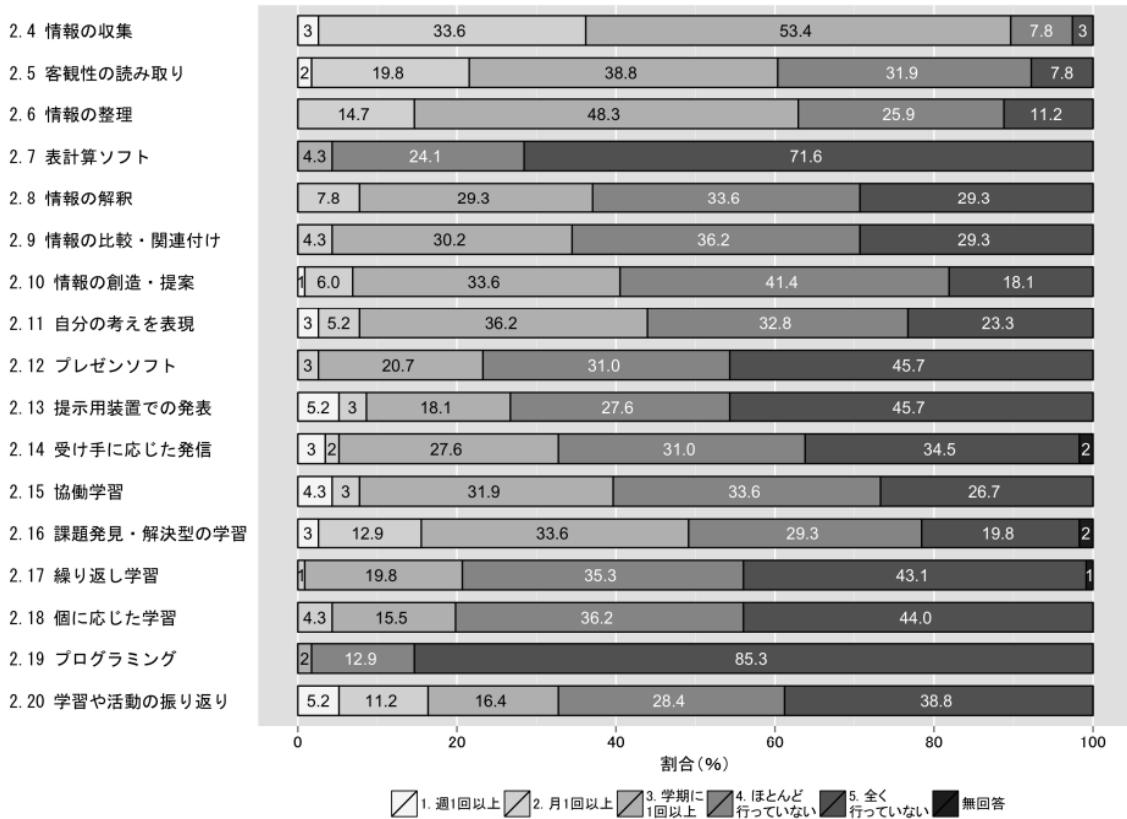
図表 3-2-9a 情報教育授業実施状況（教師用質問紙・小中平均比較 中学校は A, B 層不在）

※A層：68点以上 85点以下 B層：51点以上 68点未満

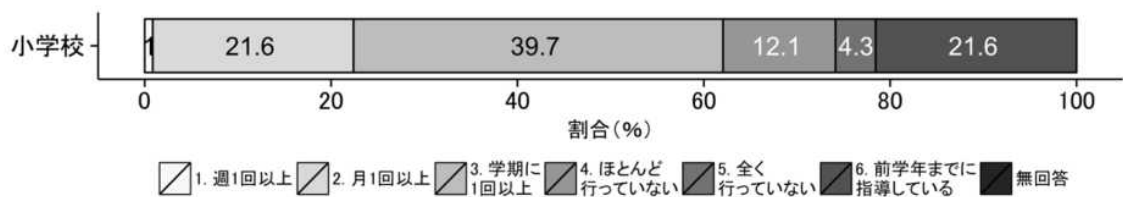
C層：34点以上 51点未満 D層：17点以上 34点未満



図表 3-2-9b 情報教育授業実施状況（教師用質問紙・小学校）



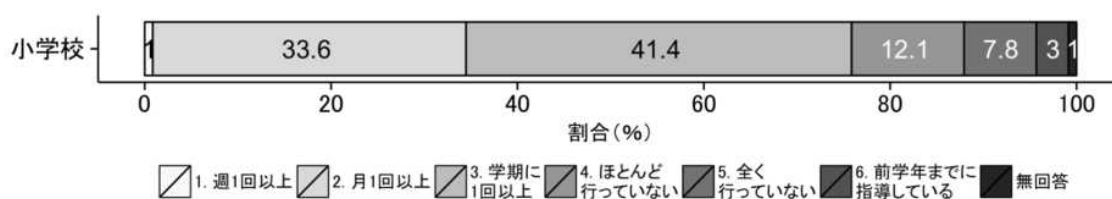
図表 3-2-9c 2.1 キーボードなどによる文字入力の学習を行わせること（教師用質問紙・小学校）



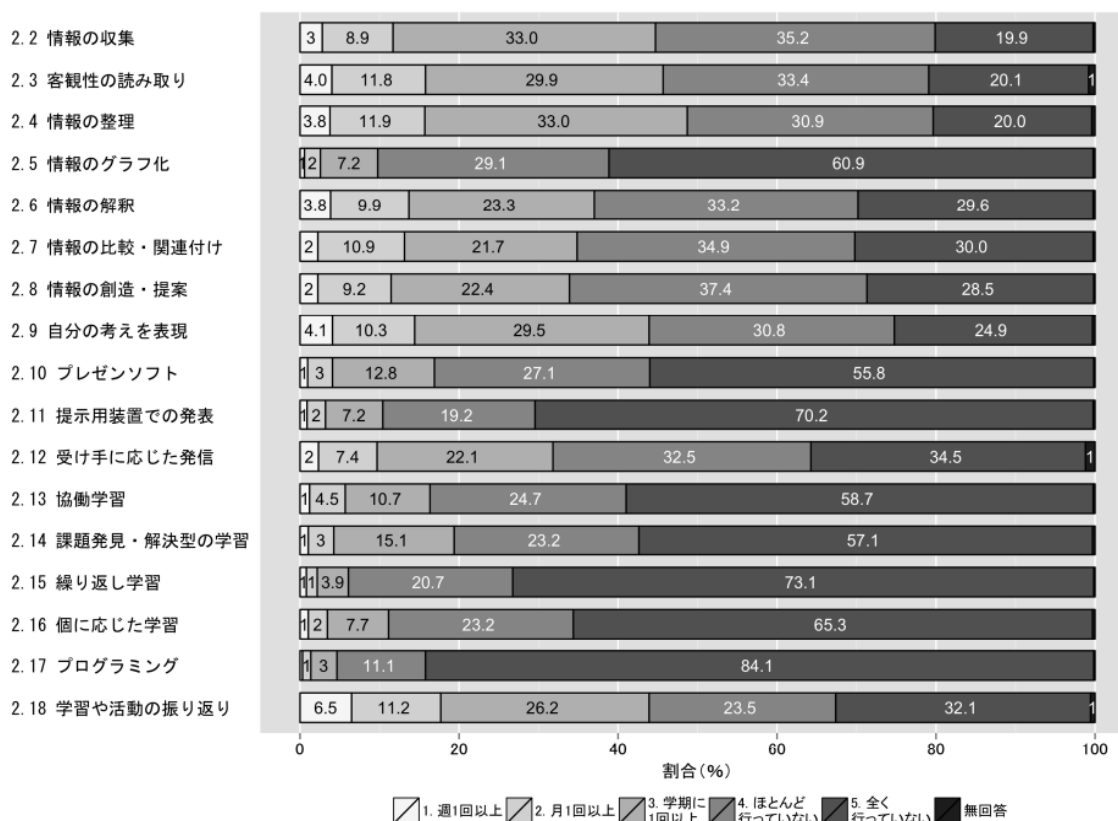
図表 3-2-9d 2.2 電子ファイルの保存・整理を行わせること（教師用質問紙・小学校）



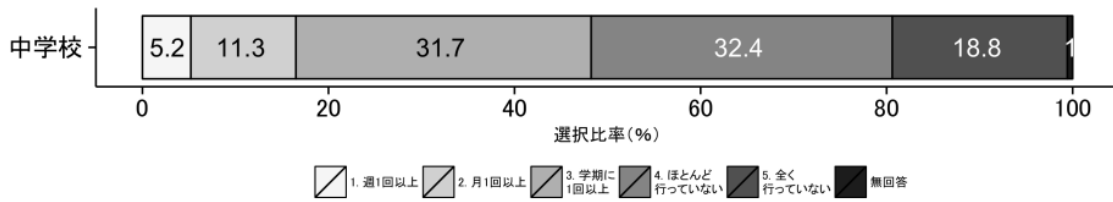
図表 3-2-9e 2.3 インターネットの閲覧や電子メールの送受信を行わせること（教師用質問紙・小学校）



図表 3-2-9f 情報教育授業実施状況（教師用質問紙・中学校 12 種合計）



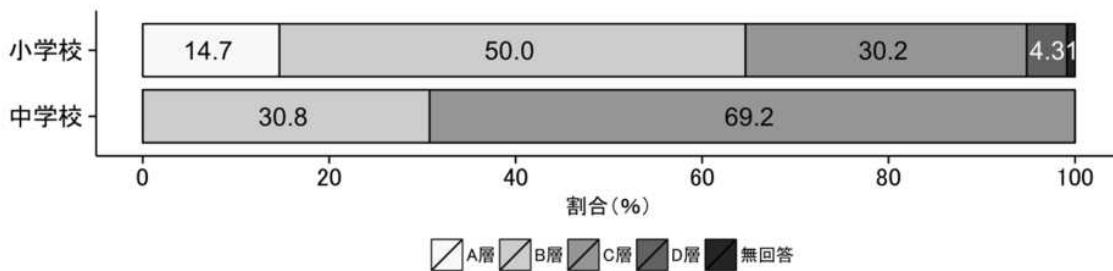
図表 3-2-9g 2.1 情報手段の選択・活用（教師用質問紙・中学校 12 種合計）



図表 3-2-10a 情報活用能力指導力（教師用質問紙・小中平均比較）

※A層：55.25点以上 68点以下 B層：42.5点以上 55.25点未満

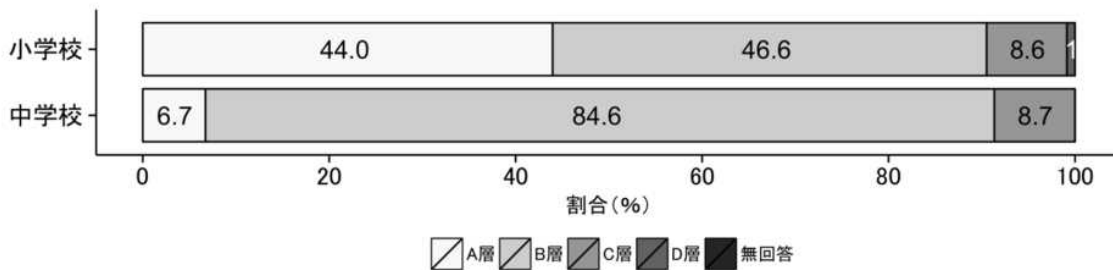
C層：29.75点以上 42.5点未満 D層：17点以上 29.75点未満



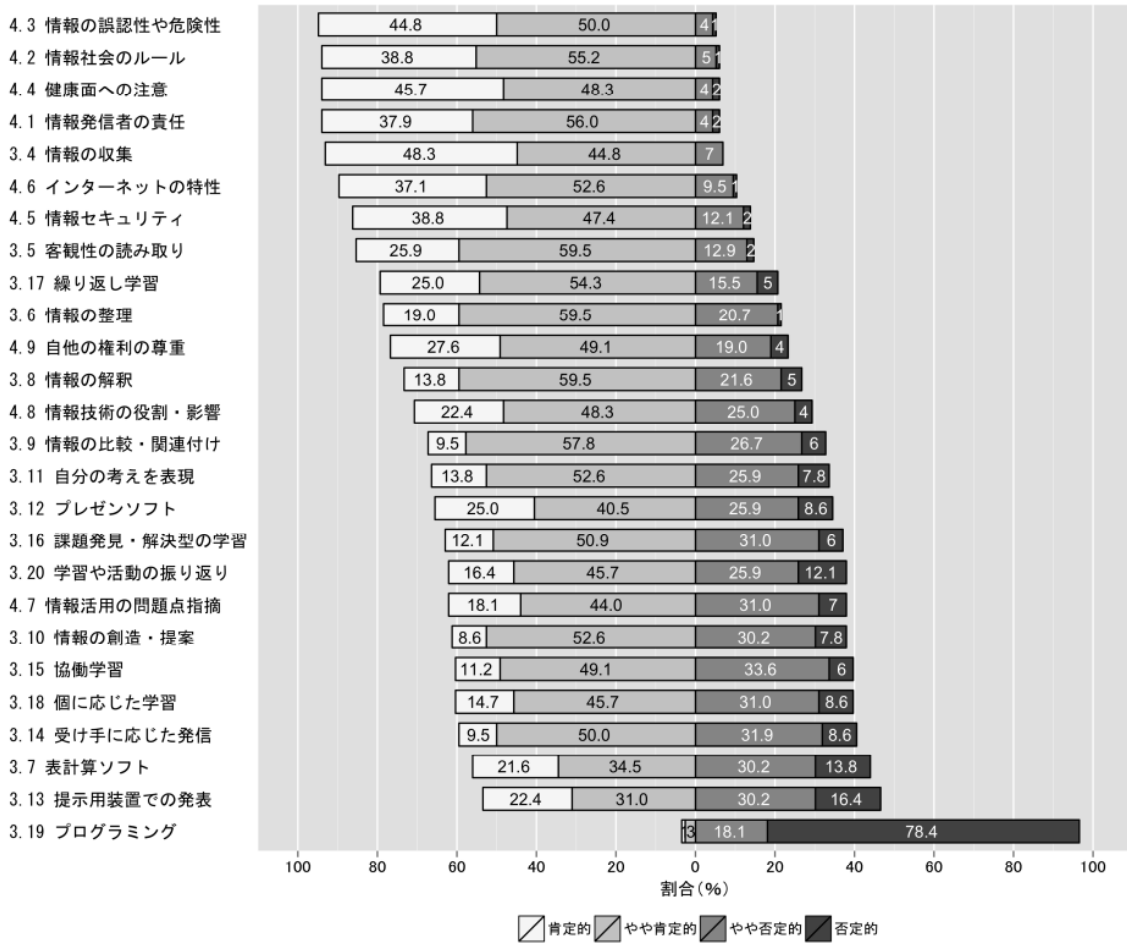
図表 3-2-10b 理解及び態度（教師用質問紙・小中平均比較）

※A層：29.25点以上 36点以下 B層：22.5点以上 29.25点未満

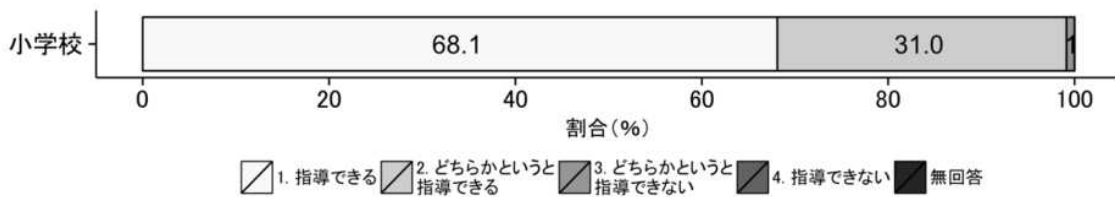
C層：15.75点以上 22.5点未満 D層：9点以上 15.75点未満



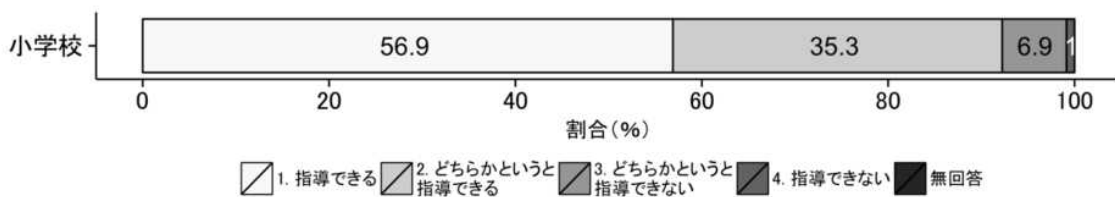
図表 3-2-10c 情報活用能力指導力・理解及び態度（教師用質問紙・小学校）



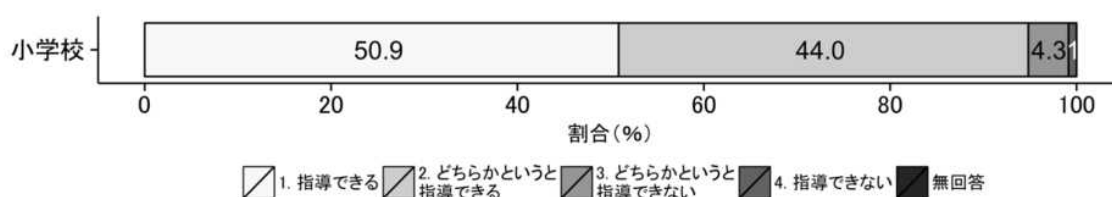
図表 3-2-10d 3.1 キーボードなどによる文字入力の学習を行わせること（教師用質問紙・小学校）



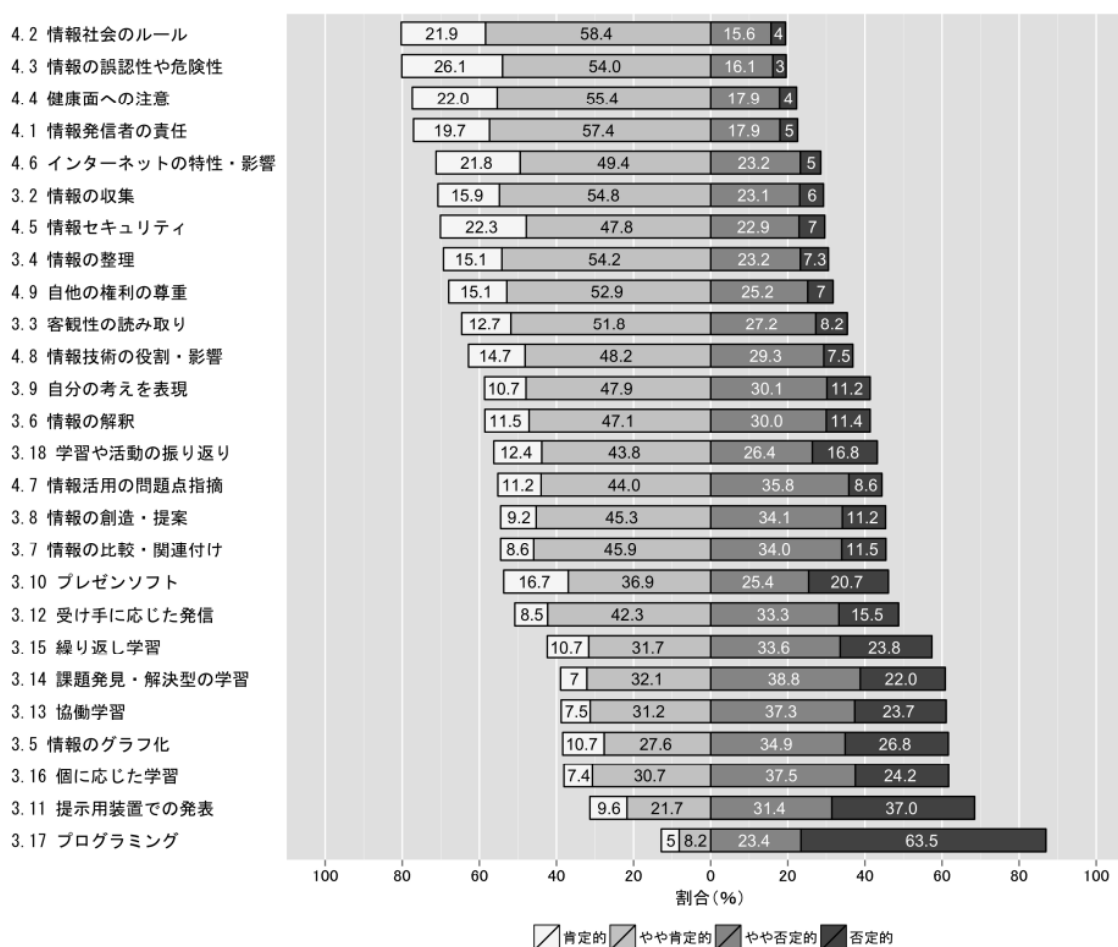
図表 3-2-10e 3.2 電子ファイルの保存・整理を行わせること（教師用質問紙・小学校）



図表 3-2-10f 3.3 インターネットの閲覧や電子メールの送受信を行わせること（教師用質問紙・小学校）



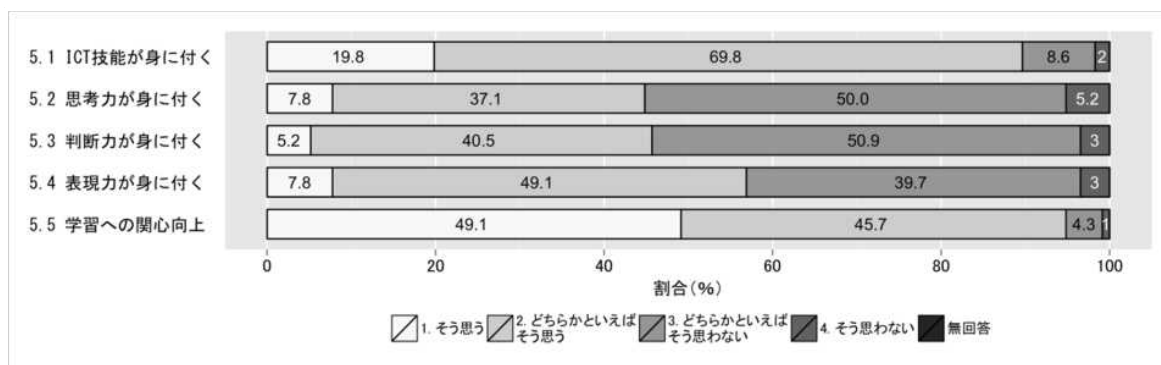
図表 3-2-10g 情報活用能力指導力・理解及び態度（教師用質問紙・中学校 12 種合計）



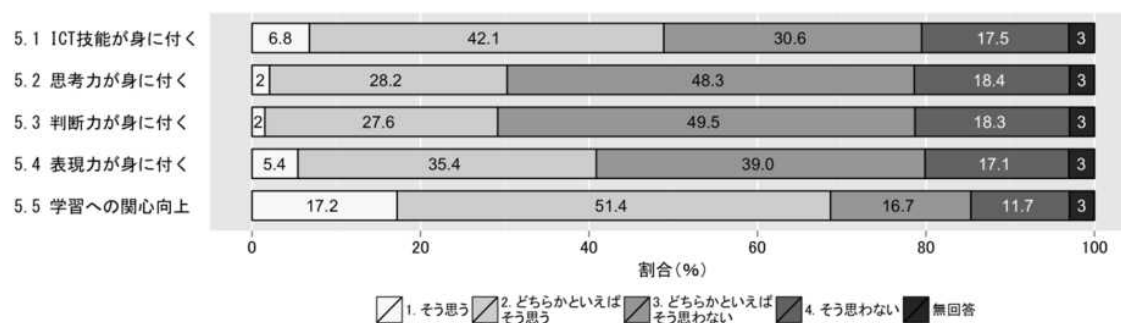
図表 3-2-10h 情報活用能力指導力・理解及び態度（教師用質問紙・選択肢）

凡例	肯定的	やや肯定的	やや否定的	否定的
選択肢	指導できる	どちらかという指導できる	どちらかという指導できない	指導できない

図表 3-2-11a ICT 活用効果実感（教師用質問紙・小学校）



図表 3-2-11b ICT 活用効果実感（教師用質問紙・中学校 12 種合計）



3-2-3 児童生徒用質問調査

児童生徒に対する質問調査は、情報活用能力調査を受検した児童生徒を対象に、情報活用能力に関する生活経験や学習経験等の背景を探ることを目的とし、調査問題への解答直後に引き続いて行われた。児童生徒は、問題調査で使用したコンピュータを用いて回答した。

調査項目数は、小学校、中学校とも 39 項目であった。小学生と中学生のそれぞれに適切なものとするため、項目文の表現は若干異なっている部分があるものの内容的にはほぼ同等であり、両者の結果は比較可能と考えられる。

項目については、全国学力・学習状況調査や PISA 調査の項目との対応に配慮するとともに、この調査のための独自項目も設定した。

校種別の反応率の結果を示したものが図表 3-2-12a および図表 3-2-12b である。各調査項目の多くは、肯定的－やや肯定的－やや否定的－否定的という 4 件法による回答とした。

図表 3-2-13a, 図表 3-2-14a, 図表 3-2-15a, 図表 3-2-16a, 図表 3-2-17a, 図表 3-2-18a, 図表 3-2-19a はカテゴリーごとに小学校と中学校の結果を比較して示した結果であり、図表 3-2-13b, 図表 3-2-14b, 図表 3-2-15b, 図表 3-2-17b, 図表 3-2-19b は小学校の結果をカテゴリーごとに肯定的な回答の割合が高かった順に並べて示した結果であり、図表 3-2-13c, 図表 3-2-14c, 図表 3-2-15c, 図表 3-2-17c, 図表 3-2-19c は中学校の結果をカテゴリーごとに肯定的な回答の割合が高かった順に並べて示した結果であり、図表 3-2-13d, 図表 3-2-14d, 図表 3-2-15d, 図表 3-2-17d, 図表 3-2-19d は選択肢を示した表である。なお、図表 3-2-16b, 図表 3-2-16c, 図表 3-2-18b, 図表 3-2-18c は設問番号順に並べて示した結果である。

なお、図表 3-2-13a, 図表 3-2-16a, 図表 3-2-18a, 図表 3-2-19a はアルファ係数が 0.7 未満であったカテゴリーであり、分析する際にはカテゴリーとして扱わないが、小学校と中学校の比較のために掲載している。

図表 3-2-12a 児童に対する質問調査の調査結果（小学校 最も反応率の高い選択肢に●）

小学校(児童数:3337)							
小項目			選択肢別反応率(%)				
1. 1から10は、学校での学習についての質問(しつもん)です。家でのこととまちがえないように答えましょう。							
1. 1 学校でのこと			次のことについて、学校でコンピュータをどのくらい使っていますか。				
	項目		1 ほぼ毎日 利用してい る	2 時々利用 している	3 ほとんど 利用して いない	4 全く利用し たことがな い	無回答
1	1.1.1	インターネットで必要な情報(じょうほう)をさがすためにコンピュータを使う	8.9	55.0	24.8	8.3	3.0
2	1.1.2	表を作成したり、グラフを作ったりするためにコンピュータを使う	1.4	17.0	39.2	40.1	2.2
3	1.1.3	発表するためのスライドや、資料(しりょう)を作るためにコンピュータを使う	2.5	33.3	33.9	28.6	1.7
4	1.1.4	電子黒板やスクリーンにうつして発表するためにコンピュータを使う	2.4	13.6	31.1	51.6	1.3
1. 2 コンピュータを使うこと			次のことについて、もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょう。				
	項目		1 当てはまる	2 どちらかとい えば当ては まる	3 どちらかとい えば当ては まらない	4 当てはまら ない	無回答
5	1.2.1	コンピュータのキーボードで文字を入力することは得意である	23.3	37.9	24.9	11.8	2.0
6	1.2.2	インターネットで必要な情報(じょうほう)を探すことは得意である	26.4	37.6	25.0	9.1	1.8
7	1.2.3	コンピュータを使って、表やグラフを作ったりすることは得意である	6.7	18.0	40.3	33.1	2.0
8	1.2.4	コンピュータを使って、発表するためのスライドや資料(しりょう)を作ることは得意である	7.0	19.4	37.7	33.6	2.3
9	1.2.5	コンピュータを使って、電子黒板やスクリーンにうつして発表することは得意である	3.7	13.7	35.3	45.3	2.0
10	1.2.6	コンピュータを使った授業(じゅぎょう)は、わかりやすい	40.4	39.7	12.3	5.7	1.9
2. 11から22は、家庭での生活や学習のことについての質問(しつもん)です。学校でのこととまちがえないように答えましょう。							
2. 1 家での持ちものこと			あなたが、家で利用できるものはありますか。もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょう。				
	項目		1 自分のもの を利用してい る	2 家族のもの と一緒に利 用している	3 利用してい ない	4 持っていない	無回答
11	2.1.1	パソコン(ノート型パソコンやタブレットパソコンもふくむ)	10.8	66.9	8.2	12.6	1.5
12	2.1.2	携帯(けいたい)電話やスマートフォン	30.5	36.8	10.6	20.4	1.8
13	2.1.3	携帯(けいたい)型ゲーム機(インターネットにつながるもの)	50.0	21.2	13.5	13.3	1.9
14	2.1.4	携帯(けいたい)型音楽プレーヤー(インターネットにつながるもの)	23.4	23.0	21.4	30.7	1.6
2. 2 家でのこと			次のことについて、家でどのくらい行っていますか。もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょう。				
	項目		1 ほぼ毎日し ている	2 時々してい る	3 ほとんどし ていない	4 全くしたこと がない	無回答
15	2.2.1	インターネットで必要な情報(じょうほう)を探す	15.2	47.1	24.2	11.9	1.6
16	2.2.2	インターネットで動画や音楽などを見たりきいたりする	23.1	44.7	17.8	13.0	1.4
17	2.2.3	インターネットでゲームをする	14.3	38.0	27.2	18.9	1.6
18	2.2.4	携帯(けいたい)電話やスマートフォン、携帯(けいたい)用ゲーム機などで写真や動画をとる	13.2	41.0	24.0	20.0	1.8
19	2.2.5	コンピュータで電子メールを送信したり受信したりする	4.0	9.9	19.7	64.5	1.9
20	2.2.6	携帯(けいたい)電話やスマートフォンでメールを送信したり受信したりする	14.4	21.9	17.6	43.9	2.2
21	2.2.7	携帯(けいたい)電話やスマートフォンでLINE(ライン)などのインスタントメッセージをする	9.3	12.4	12.1	64.4	1.8
22	2.2.8	携帯(けいたい)電話やスマートフォンでフェイスブックやツイッターなどをする	1.9	4.9	11.3	80.1	1.8

3. 23から39は、学校、家庭を問わず、あなたがふだんしていることについての質問(しつもん)です。								
3. 1 ふだんしていること								
次のことについて、もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょう。								
項目			1 当てはまる	2 どちらかとい えば当ては まる	3 どちらかとい えば当ては まらない	4 当てはまら ない	無回答	
23	3.1.1	わからないことがあったら、辞書やインターネットなどの調べる方法を考えて、いろいろな方法で調べるようにしている	32.3	38.2	18.8	9.6	1.2	
24	3.1.2	本を読む(教科書や参考書、マンガや雑誌(ざっし)はのぞきます)	37.1	27.1	22.1	12.4	1.3	
25	3.1.3	調べものをするとき、できるだけ多くの資料(しりょう)を集めてから、自分のさがしていることを見つけるようにしている	12.7	28.9	38.9	17.8	1.7	
26	3.1.4	文章を読んだだけではわからないとき、自分で図や表に書き直してみるようにしている	12.6	29.5	35.7	20.7	1.6	
27	3.1.5	集めた資料(しりょう)をくらべて共通点やちがいを見つけ出すようにしている	8.6	29.0	40.2	20.4	1.7	
28	3.1.6	いろいろなことを人とはちがった面から考えたり、自分なりの考えを持つようにしている	17.0	38.5	31.6	11.0	1.9	
29	3.1.7	自分の聞いた話や集めた資料(しりょう)が本当に正しいのかどうかについて、よく考えるようにしている	16.8	36.9	30.6	13.8	1.8	
30	3.1.8	意見があわないときは、両方の意見をよく聞いてから、どちらの意見が正しいのかを自分なりに決めるようにしている	23.6	44.6	21.7	8.6	1.5	
31	3.1.9	調べたことをもとに新しいものをつくりだしたり、自分の考えをだしたりするようにしている	13.6	33.7	37.7	13.1	1.9	
32	3.1.10	友達の前で自分の考えや意見を発表するときは、話す内容(ないよう)を整理してから伝えるようにしている	22.3	41.4	25.7	8.9	1.7	
33	3.1.11	問題を見つけたときは、解決(かいけつ)方法を考えたりして提案(ていあん)するようにしている	16.3	40.0	31.5	10.4	1.8	
34	3.1.12	友達と協力して学習したり、教えあったりするようにしている	37.9	43.3	13.1	4.1	1.6	
35	3.1.13	学校のきまりやきそくを守るようにしている	41.5	43.9	10.7	2.4	1.5	
36	3.1.14	学習したり、体験した後は、よかったことや悪かったことについて、ふり返るようにしている	27.8	41.1	22.7	6.8	1.6	
3. 2 ルールやマナーのこと								
次のことについて、もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょう。								
項目			1 当てはまる	2 どちらかとい えば当ては まる	3 どちらかとい えば当ては まらない	4 当てはまら ない	5 使っていない	無回答
37	3.2.1	コンピュータや携帯(けいたい)電話の使い方について家族と決めているルールがある	34.2	22.3	13.9	13.3	14.9	1.5
38	3.2.2	インターネット、メールやSNSなどを使うときのルールやマナーに気を付けるようにしている	33.7	19.3	7.5	6.6	31.3	1.6
39	3.2.3	携帯(けいたい)電話やスマートフォン、携帯型ゲーム機での友達とのやりとりが楽しくて時間をわすれることがある	20.6	18.3	16.8	20.2	22.5	1.5

図表 3-2-12b 生徒に対する質問調査の調査結果（中学校 最も反応率の高い選択肢に●）

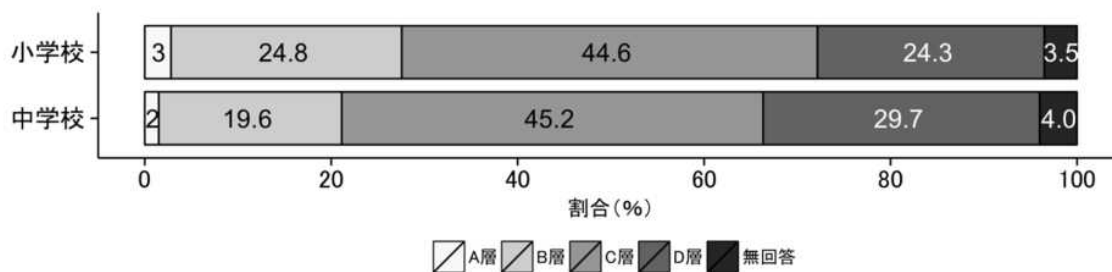
中学校(生徒数:3327)							
小項目			選択肢別 反応率(%)				
1. 1から10は、学校での学習についての質問です。家でのことではありませんので注意しましょう。							
1. 1 学校でのこと			次のことについて、学校でコンピュータをどのくらい使っていますか。もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょう。				
	項目		1 ほぼ毎日 利用してい る	2 時々利用 している	3 ほとんど 利用してい ない	4 全く利用し たことがな い	無回答
1	1.1.1	インターネットで必要な情報を検索(けんさく)して調べるためにコンピュータを使う	14.9	39.9	32.3	10.0	3.0
2	1.1.2	表を作成したり、グラフを作ったりするためにコンピュータを使う	1.0	15.0	38.4	43.1	2.6
3	1.1.3	発表するためのスライドや、資料を作るためにコンピュータを使う	1.2	20.2	39.7	37.2	1.8
4	1.1.4	電子黒板やスクリーンに映して発表するためにコンピュータを使う	1.1	11.2	32.5	54.0	1.2
1. 2 コンピュータを使うこと			次のことについて、もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょう。				
	項目		1 当てはまる	2 どちらかとい えば当ては まる	3 どちらかとい えば当ては まらない	4 当てはまら ない	無回答
5	1.2.1	コンピュータのキーボードで文字を入力することは得意である	13.9	31.6	38.5	14.0	2.0
6	1.2.2	インターネットで必要な情報を検索(けんさく)して調べることは得意である	30.4	41.8	19.9	6.1	1.9
7	1.2.3	コンピュータを使って、表を作成したり、グラフを作ったりすることは得意である	4.4	14.0	38.2	40.7	2.7
8	1.2.4	コンピュータを使って、発表するためのスライドや資料を作ることは得意である	4.7	15.4	36.5	41.0	2.4
9	1.2.5	コンピュータを使って、電子黒板やスクリーンに映して発表することは得意である	2.1	9.5	35.9	50.4	2.0
10	1.2.6	コンピュータを使った授業は、わかりやすい	31.2	42.8	16.8	7.1	2.0
2. 11から22は、家庭での生活や学習のことについての質問です。学校でのことではありませんので注意しましょう。							
2. 1 家での持ちもののこと			あなたが、家で利用できるものはありますか。もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょう。				
	項目		1 自分のもの を利用してい る	2 家族のもの と一緒に利 用している	3 利用してい ない	4 持っていない	無回答
11	2.1.1	パソコン(ノート型パソコンやタブレットパソコンもふくむ)	19.2	64.1	6.2	8.9	1.6
12	2.1.2	携帯(けいたい)電話やスマートフォン	52.9	13.2	7.7	24.4	1.8
13	2.1.3	携帯(けいたい)型ゲーム機(インターネットにつながるもの)	60.1	12.0	12.1	13.6	2.1
14	2.1.4	携帯(けいたい)型音楽プレーヤー(インターネットにつながるもの)	54.0	6.9	13.6	23.8	1.7
2. 2 家でのこと			次のことについて、家でどのくらい行っていますか。もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょう。				
	項目		1 ほぼ毎日し ている	2 時々してい る	3 ほとんどし ていない	4 全くしたこと がない	無回答
15	2.2.1	インターネットで必要な情報を検索(けんさく)をして調べる	34.4	45.5	12.9	5.4	1.8
16	2.2.2	インターネットで動画や音楽などを見たり聴いたりする	45.0	39.2	8.5	5.4	1.9
17	2.2.3	インターネットをつないでゲームなど、遊びとして利用する	29.2	30.0	25.1	13.8	1.9
18	2.2.4	携帯(けいたい)電話やスマートフォン、携帯(けいたい)用ゲーム機などで写真や動画をとる	21.7	42.6	19.1	14.5	2.1
19	2.2.5	コンピュータで電子メールを送信したり受信したりする	13.2	15.5	24.3	44.4	2.6
20	2.2.6	携帯(けいたい)電話やスマートフォンでメールを送信したり受信したりする	36.9	23.2	12.1	25.2	2.6
21	2.2.7	携帯(けいたい)電話やスマートフォンでLINE(ライン)などのインスタントメッセージをする	40.1	9.6	8.7	39.4	2.2
22	2.2.8	携帯(けいたい)電話やスマートフォンでフェイスブックやツイッターなどをする	15.1	10.3	12.0	60.6	2.0

3. 23から39は、学校、家庭を問わず、あなたがふだんしていることについての質問です。								
3. 1 ふだんしていること		次のことについて、もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょう。						
項目		1 当てはまる	2 どちらかとい えば当ては まる	3 どちらかとい えば当ては まらない	4 当てはまら ない	無回答		
23	3.1.1	わからないことがあったら、辞書やインターネットなどの調べ る方法を考えて、いろいろな方法で調べようとしている	34.9	37.4 ●	18.5	7.8	1.5	
24	3.1.2	読書をする(教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます)	32.4 ●	23.1	24.8	18.3	1.4	
25	3.1.3	調べものをするとき、できるだけ多くの資料を集めてから、自 分の探していることを見つけるようにしている	10.9	28.5	40.5 ●	18.3	1.8	
26	3.1.4	文章を読んだだけではわからないとき、自分で図や表に書 き直してみるようにしている	10.2	25.0	36.0 ●	27.1	1.8	
27	3.1.5	集めた資料を比べて共通点やちがいをを見つけ出すようにし ている	7.7	26.1	39.7 ●	24.6	1.8	
28	3.1.6	いろいろなことを人とはちがった面から考えたり、自分なりの 考えを持つようにしたりしている	16.4	39.4 ●	30.4	11.5	2.3	
29	3.1.7	自分の聞いた話や集めた資料が本当に正しいのかどうかに ついて、よく考えるようにしている。	17.0	40.2 ●	28.8	12.1	1.9	
30	3.1.8	意見があわないときは、両方の意見をよく聞いてから、どち らの意見が正しいのかを自分なりに決めるようにしている	24.3	49.6 ●	16.9	7.5	1.7	
31	3.1.9	調べたことをもとに新しいものをつくりだしたり、自分の考えを だしたりするようにしている。	11.5	32.5	39.6	14.4	2.0	
32	3.1.10	友達の前で自分の考えや意見を発表するときは、話す内容 を整理してから伝えるようにしている	19.5	45.6 ●	25.1	7.8	2.0	
33	3.1.11	問題を見つけたときは、解決方法を考えたりして提案するよ うにしている	15.1	44.3 ●	29.9	8.7	2.0	
34	3.1.12	友達と協力して学習したり、教えあったりするようにしている	31.6	45.7 ●	15.7	5.4	1.7	
35	3.1.13	学校のきまりや規則を守るようにしている	46.4 ●	40.8	7.5	3.2	2.0	
36	3.1.14	学習したり、体験した後は、よかったことや悪かったことにつ いて、ふり返るようにしている	20.3	40.8 ●	27.8	9.4	1.6	
3. 2 ルールやマナーのこと		次のことについて、もっとも近いものを1つ選んでチェックしましょ う。						
項目		1 当てはまる	2 どちらかとい えば当ては まる	3 どちらかとい えば当ては まらない	4 当てはまら ない	5 使っていな い	無回答	
37	3.2.1	コンピュータや携帯(けいたい)電話の使い方について家族 と決めているルールがある	27.4 ●	26.2	16.9	17.7	10.1	1.6
38	3.2.2	インターネット、メールやSNSなどを使うときのルールやマ ナーに気を付けるようにしている	40.1 ●	27.8	8.5	5.7	16.4	1.4
39	3.2.3	携帯(けいたい)電話やスマートフォン、携帯型ゲーム機で の友達とのやりとりが楽しくて時間をわすれることがある	27.4 ●	23.6	18.2	14.6	14.6	1.4

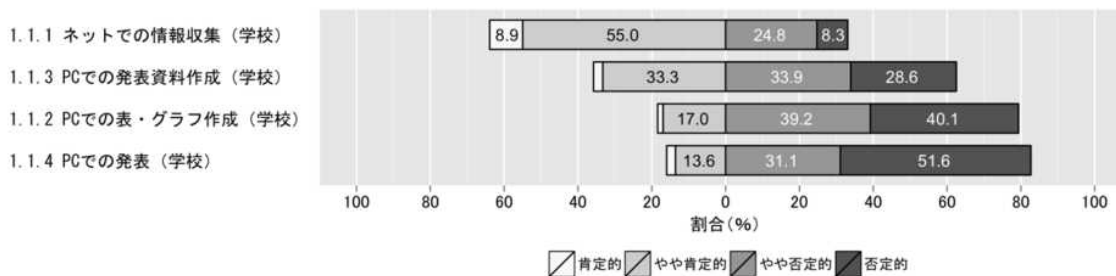
図表 3-2-13a 学校での ICT 使用（児童生徒用質問・小中比較・カテゴリ対象外）

※A層：13 点以上 16 点以下 B層：10 点以上 13 点未満

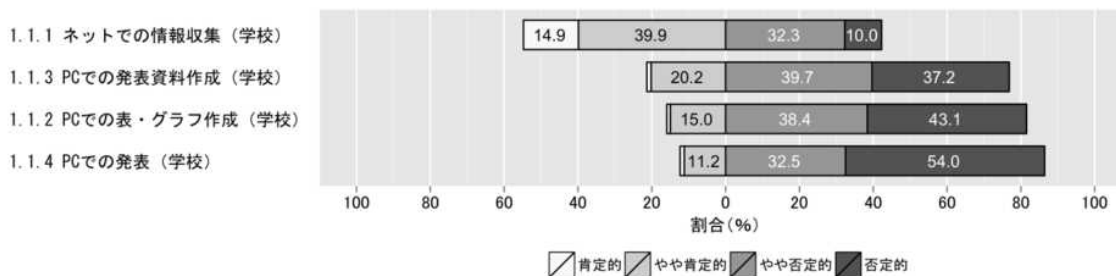
C層：7 点以上 10 点未満 D層：4 点以上 7 点未満



図表 3-2-13b 学校での ICT 使用（児童生徒用質問・小学校）



図表 3-2-13c 学校での ICT 使用（児童生徒用質問・中学校）

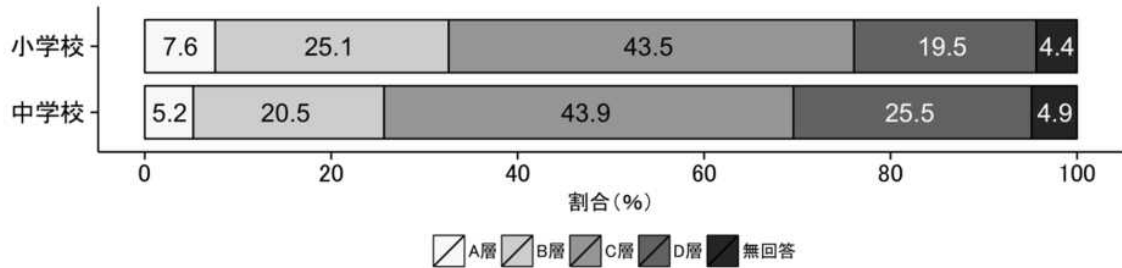


図表 3-2-13d 学校での ICT 使用（児童生徒用質問・選択肢）

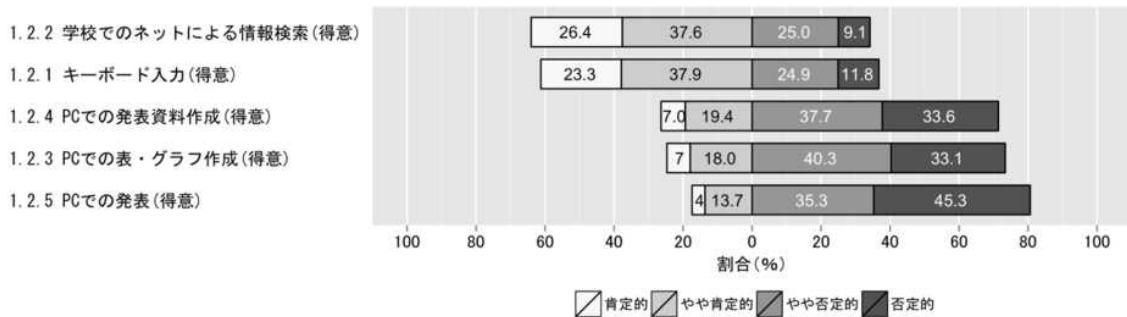
凡例	肯定的	やや肯定的	やや否定的	否定的
選択肢	ほぼ毎日 利用している	時々 利用している	ほとんど 利用していない	全く利用した ことがない

図表 3-2-14a ICT 活用能力の自己評価（児童生徒用質問・小中比較）

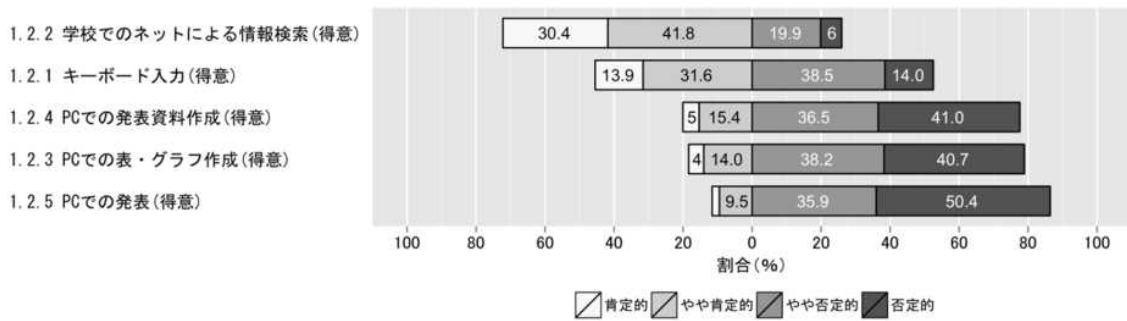
※A層：16.25 点以上 20 点以下 B層：12.5 点以上 16.25 点未満
 C層：8.75 点以上 12.5 点未満 D層：5 点以上 8.75 点未満



図表 3-2-14b ICT 活用能力の自己評価（児童生徒用質問・小学校）



図表 3-2-14c ICT 活用能力の自己評価（児童生徒用質問・中学校）



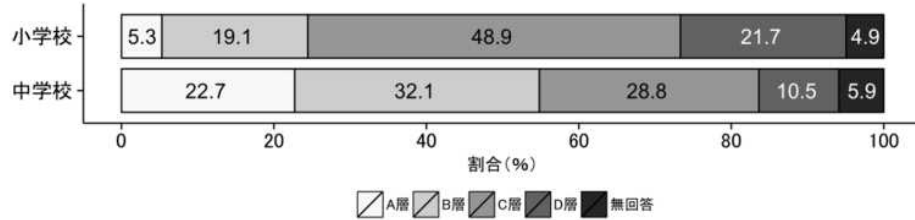
図表 3-2-14d ICT 活用能力の自己評価（児童生徒用質問・選択肢）

凡例	肯定的	やや肯定的	やや否定的	否定的
選択肢	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない

図表 3-2-15a 家庭での ICT 使用（児童生徒用質問・小中比較）

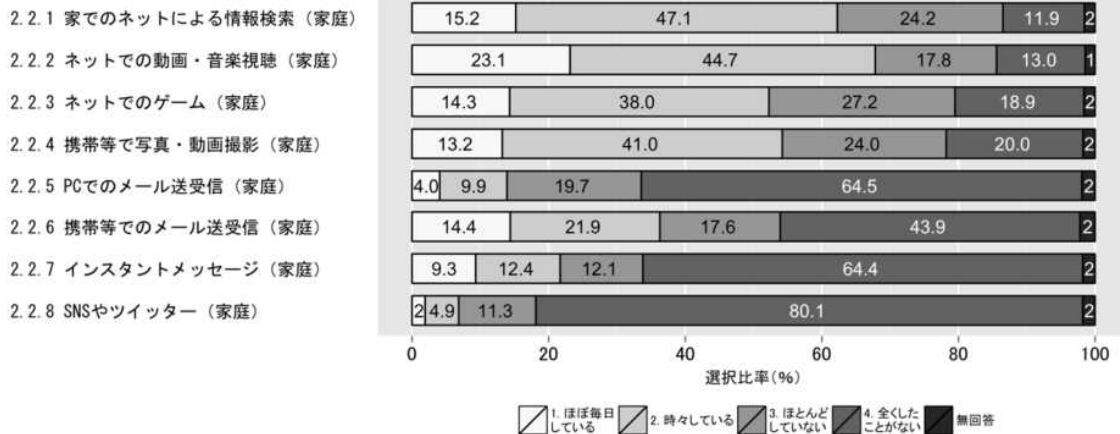
※A層：26 点以上 32 点以下 B層：20 点以上 26 点未満

C層：14 点以上 20 点未満 D層：8 点以上 14 点未満



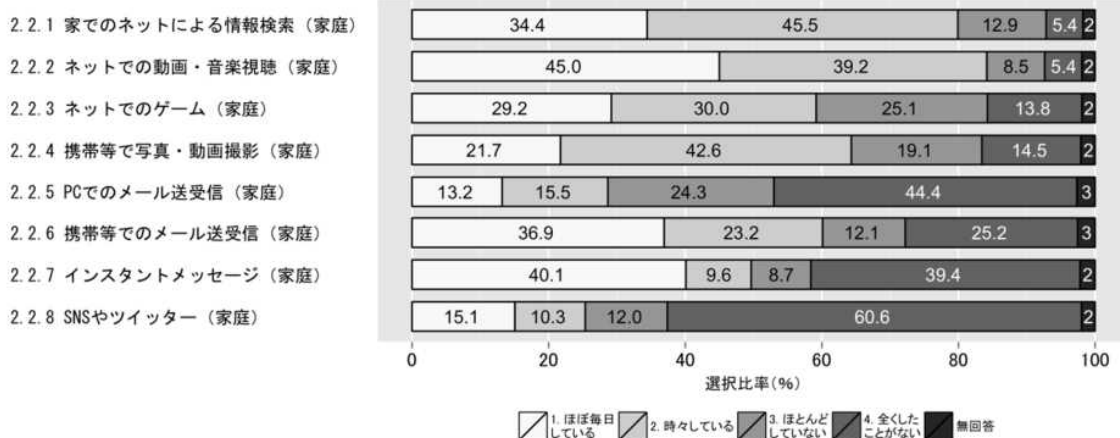
図表 3-2-15b 家庭での ICT 使用（児童生徒用質問・小学校）

2.2 家でのこと



図表 3-2-15c 家庭での ICT 使用（児童生徒用質問・中学校）

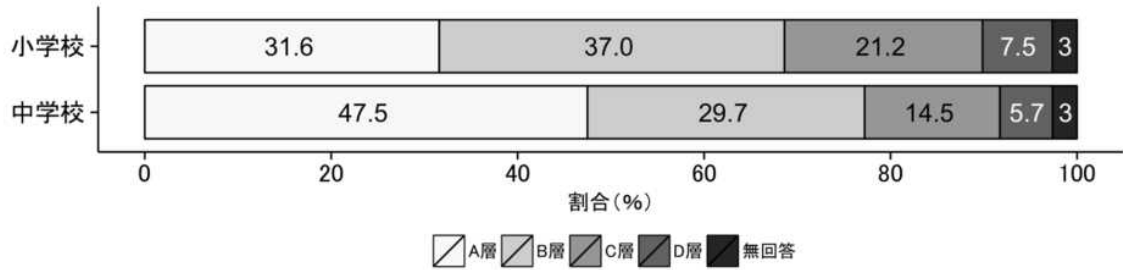
2.2 家でのこと



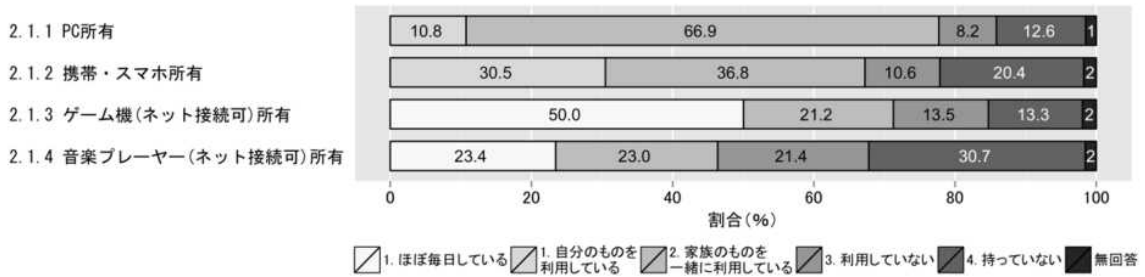
図表 3-2-16a 家庭での ICT 所有（児童生徒用質問・小中比較・カテゴリ対象外）

※A層：13 点以上 16 点以下 B層：10 点以上 13 点未満

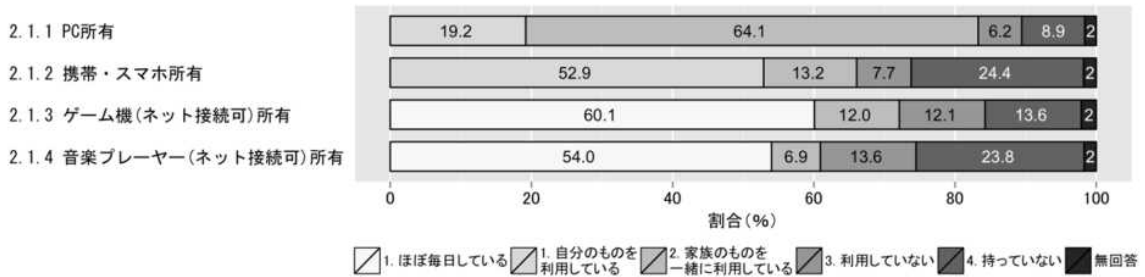
C層：7 点以上 10 点未満 D層：4 点以上 7 点未満



図表 3-2-16b 家庭での ICT 所有（児童生徒用質問・小学校）

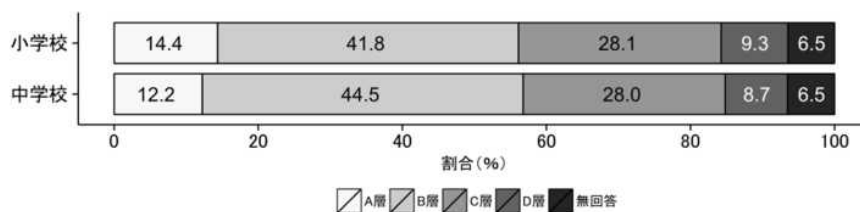


図表 3-2-16c 家庭での ICT 所有（児童生徒用質問・中学校）

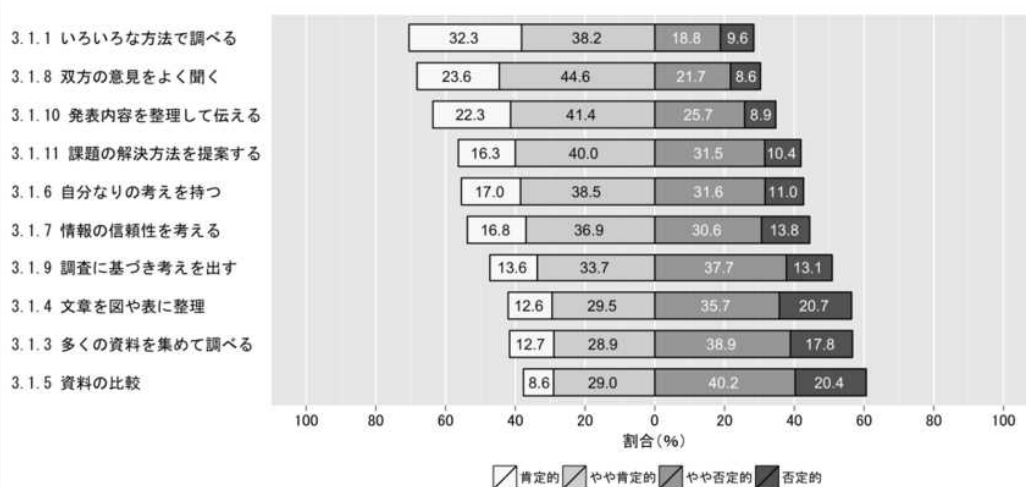


図表 3-2-17a 情報活用実践力（児童生徒用質問・小中比較）

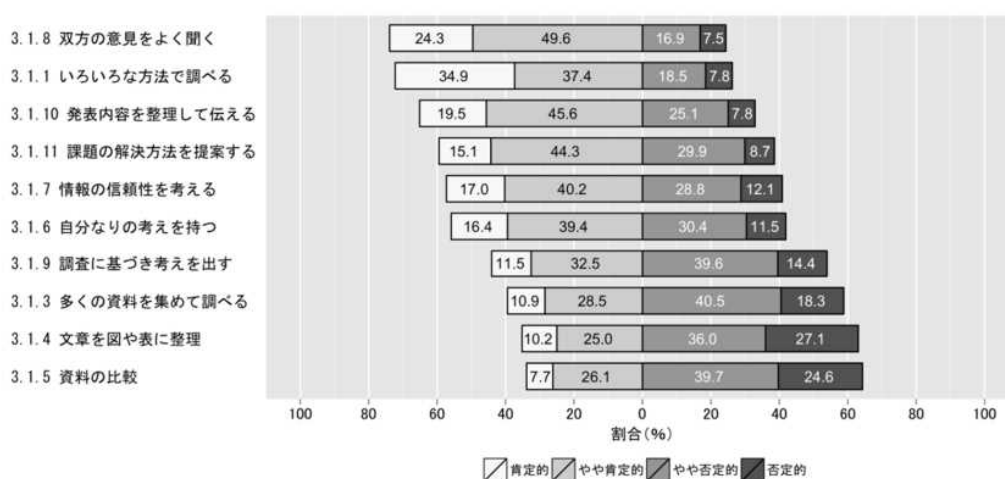
※A層：32.5点以上 40点以下 B層：25点以上 32.5点未満
C層：17.5点以上 25点未満 D層：10点以上 17.5点未満



図表 3-2-17b 情報活用実践力（児童生徒用質問・小学校）



図表 3-2-17c 情報活用実践力（児童生徒用質問・中学校）



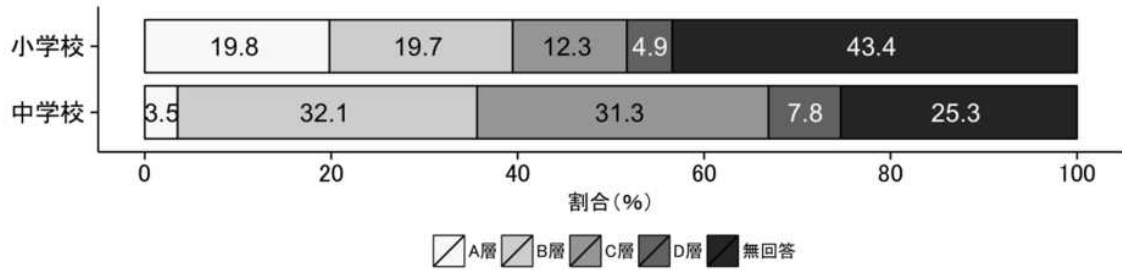
図表 3-2-17d 情報活用実践力（児童生徒用質問・選択肢）

凡例	肯定的	やや肯定的	やや否定的	否定的
選択肢	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない

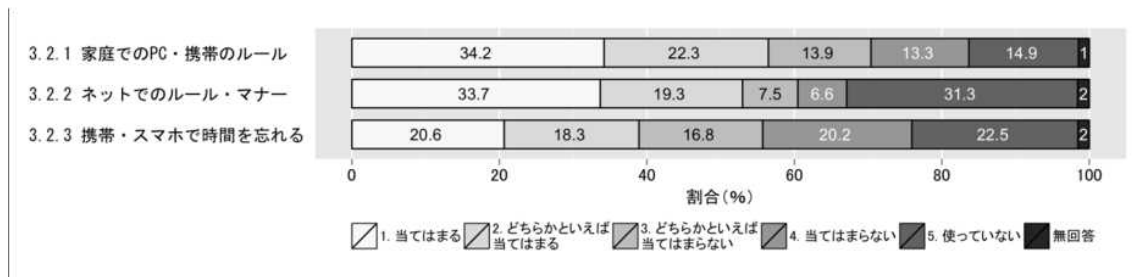
図表 3-2-18a 情報モラル（児童生徒用質問・小中比較・カテゴリ対象外）

※A層：12点以上15点以下 B層：9点以上12点未満

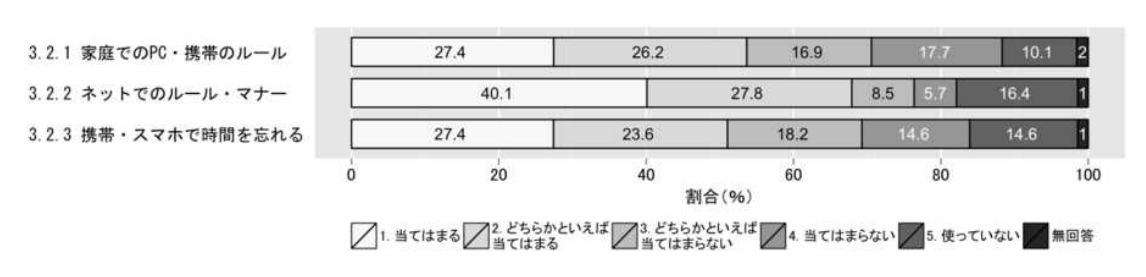
C層：6点以上9点未満 D層：3点以上6点未満



図表 3-2-18b 情報モラル（児童生徒用質問・小学校）

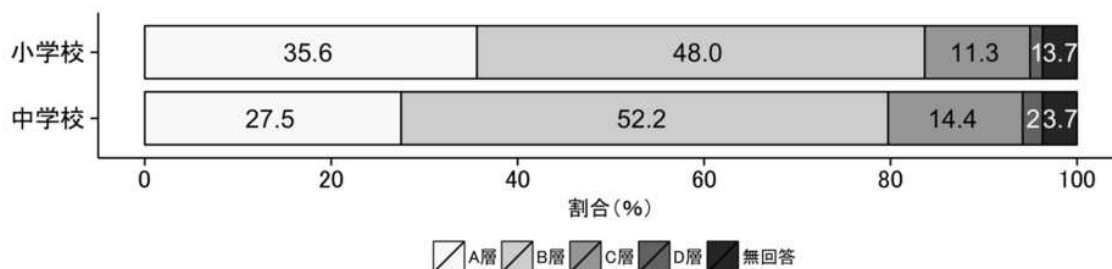


図表 3-2-18c 情報モラル（児童生徒用質問・中学校）

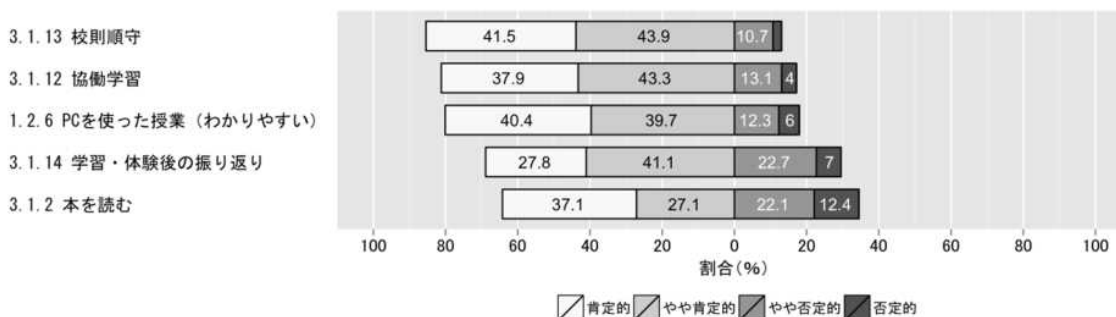


図表 3-2-19a その他（児童生徒用質問・小中比較・カテゴリ対象外）

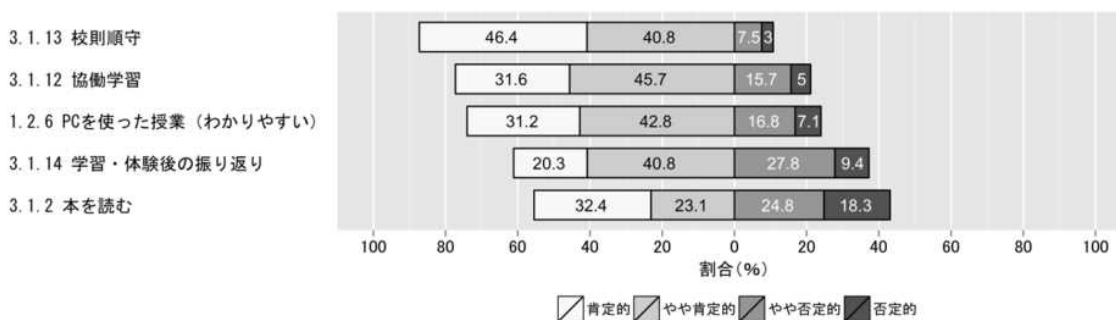
※A層：16.25点以上20点以下 B層：12.5点以上16.25点未満
C層：8.75点以上12.5点未満 D層：5点以上8.75点未満



図表 3-2-19b その他（児童生徒用質問・小学校）



図表 3-2-19c その他（児童生徒用質問・中学校）



図表 3-2-19d その他（児童生徒用質問・選択肢）

凡例	肯定的	やや肯定的	やや否定的	否定的
選択肢	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない

なお、学校、教員、児童生徒に対するそれぞれの質問調査については、単項目ごとの分析のほか、質問の種類ごとに大項目化し得点化した分析や、大項目ごとのクロス分析、調査問題の通過率とのクロス分析等を行った。その結果は今後、第7章、第8章を参照されたい。

3-2-4 学習進度確認項目

問題と関連のある単元の履修状況の確認も行った。小学校 8 項目の結果を図表 3-2-20a, 中学校 16 項目の結果を図表 3-2-20b に示した。

図表 3-2-20a 学習進度確認項目の調査結果(小学校 最も反応率の高い選択肢に●)

項目	1 ごみを指導した	2 下水を指導した	3 両方を指導した	無回答	
1 小学校学習指導要領社会科第3学年及び第4学年の2内容の(3)のア「飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理…」の「廃棄物の処理」について、どちらの内容を選択して指導を行いましたか。	78.4 ●	12.1	3.4	6.0	
項目	1 既に指導した	2 現在指導している	3 調査時点までに指導していない	4 昨年度までに既に指導した	無回答
2 小学校学習指導要領社会科第5学年の2内容の(4)のイ「情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり」について指導を行いましたか。	3.4	12.9	83.6 ●		0.0
3 小学校学習指導要領算数科の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2の(5)に示す「必要な場面においてコンピュータなどを適切に活用すること」について本年度、指導を行いましたか。	19.8	13.8	62.9 ●	2.6	0.9
4 本年度の道徳の時間における指導において、情報モラルに関する指導を行いましたか。	37.1	5.2	50.9 ●	6.9	0.0
5 本年度の総合的な学習の時間の授業で児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用する指導を行いましたか。	65.5 ●	15.5	15.5	3.4	0.0
6 本年度の総合的な学習の時間の授業で児童が情報を収集・整理・発信したりするなどの問題の解決や探究活動に取り組む指導を行いましたか。	59.5 ●	24.1	13.8	2.6	0.0
7 本年度の総合的な学習の時間の授業で情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの指導を行いましたか。	25.9	11.2	59.5 ●	3.4	0.0
8 本年度の学級活動において、情報モラルに関する指導を行いましたか。	42.2	7.8	43.1 ●	6.9	0.0

図表 3-2-20b 学習進度確認項目の調査結果(中学校 最も反応率の高い選択肢に●)

項目		ア、既に指導した	イ、現在指導している	ウ、調査時点までに指導していない	無回答		
国語	(1) 調査対象学級において、中学校学習指導要領国語の〔第2学年〕の2内容の「A 話すこと・聞くこと」の(1)の指導において、コンピュータや情報通信ネットワークを意識した指導を行いましたか。	17.3	7.7	75.0 ●	0.0		
	(2) 調査対象学級において、中学校学習指導要領国語の〔第2学年〕の2内容の「C 読むこと」の(1)の指導及び(2)の言語活動において、情報手段や情報活用を意識した指導を行いましたか。	36.5	12.5	51.0 ●	0.0		
	項目	ア、既に指導した	イ、現在指導している	ウ、調査時点までに指導していない	エ、昨年度までに既に指導した	オ、来年度に指導する予定	無回答
	(3) 調査対象学級において、中学校学習指導要領国語の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の1の(2)に示す「情報機器を活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高める」よう工夫した指導を行いましたか。	8.7	3.8	67.3 ●	4.8	15.4	0.0
社会	(4) 調査対象学級において、中学校学習指導要領社会の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2に示す「資料の収集、処理や発表などに当たっては、コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用した指導を行いましたか。	13.5	11.5	53.8 ●	9.6	10.6	1.0
	(5) 調査対象学級において、上記(4)の指導の際、情報モラルに配慮した指導を行いましたか。	17.3	14.4	50.0 ●	5.8	10.6	1.9
項目		ア、コンピュータを用いて指導した	イ、コンピュータを用いて指導していない	無回答			
数学	(6) 調査対象学級において、中学校学習指導要領数学の〔第1学年〕の「D 資料の活用」について指導する際、コンピュータを用いた指導を行いましたか。	16.3	83.7 ●	0.0			
項目		ア、既に指導した	イ、現在指導している	ウ、調査時点までに指導していない	エ、昨年度までに既に指導した	オ、来年度に指導する予定	無回答
美術	(7) 調査対象学級において、中学校学習指導要領美術の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2の(1)のイに示す「コンピュータ等の映像メディアの積極的な活用を図るようすること」に配慮した指導を行いましたか。	23.1	6.7	58.7 ●	2.9	8.7	0.0
技術・家庭	(8) 調査対象学級において、中学校学習指導要領技術・家庭〔技術分野〕の2内容の「D 情報に関する技術」の(1)情報通信ネットワークと情報モラルについて、指導を行いましたか。	43.3 ●	11.5	26.0	7.7	10.6	1.0
	(9) 調査対象学級において、中学校学習指導要領技術・家庭〔技術分野〕の2内容の「D 情報に関する技術」の(3)プログラムによる計測・制御について、指導を行いましたか。	10.6	9.6	30.8	3.8	44.2 ●	1.0
	(10) 調査対象学級において、中学校学習指導要領技術・家庭科〔家庭分野〕の2内容の「A 家族・家庭と子どもの成長」の(3)幼児の生活と家族について、指導を行いましたか。	17.3	18.3	21.2	1.9	39.4 ●	1.9
	(11) 調査対象学級において、中学校学習指導要領技術・家庭科〔家庭分野〕の2内容の「D 身近な消費生活と環境」の(1)家庭生活と消費について、指導を行いましたか。	26.0	12.5	30.8 ●	1.9	26.9	1.9
項目		ア、既に指導した	イ、現在指導している	ウ、調査時点までに指導していない	エ、昨年度までに既に指導した	無回答	
道徳	(12) 調査対象学級において、本年度の道徳の時間における指導において、情報モラルに関する指導を行いましたか。	38.5	9.6	37.5 ●	12.5	1.9	
総合的な学習の時間	(13) 調査対象学級において、本年度の総合的な学習の時間の授業で生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用する指導を行いましたか。	48.1 ●	5.8	38.5 ●	7.7	0.0	
	(14) 調査対象学級において、本年度の総合的な学習の時間の授業で生徒が情報を収集・整理・発信するなどの問題の解決や探究活動に取り組む指導を行いましたか。	50.0 ●	10.6	30.8	8.7	0.0	
	(15) 調査対象学級において、本年度の総合的な学習の時間の授業で情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの指導を行いましたか。	33.7	9.6	51.0 ●	4.8	1.0	
特別活動	(16) 調査対象学級において、本年度の学級活動において、情報モラルに関する指導を行いましたか。	49.0 ●	12.5	26.9	11.5	0.0	

3-3 コンピュータ使用型調査によって得られたデータに関する全体的な傾向

3-3-1 児童生徒に対する文字入力調査のデータ

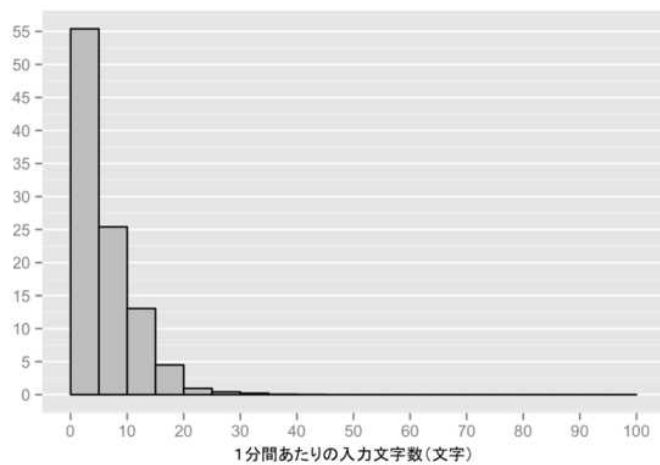
児童生徒に対する文字入力調査は、問題調査を受検した児童生徒を対象に、その基礎となる文字入力に関する技能を測定することを目的とし、調査問題の解答の直前に行われた。児童生徒は、調査問題と同じコンピュータを用いて文字入力に取り組んだ。

文字入力調査は、小学校1問、中学校2問であった。小学校では、大問0 (D0) として、全角換算で72文字の文章を画面に提示し、5分間で何文字入力できるかについて調査した。中学校では、大問0 (D0) として2問の調査を行った。1問目(文章①)は小学校での調査と同じ問題、2問目(文章②)は全角換算で81文字の別の問題とし、それぞれ3分間で何文字入力できるかについて調査した。

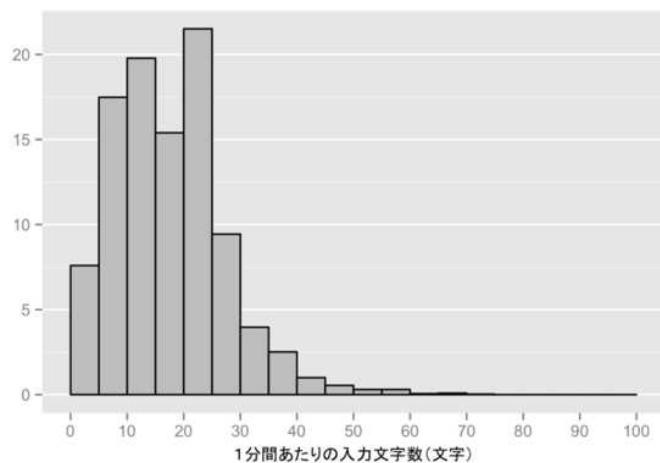
児童生徒が入力した文字数から「1分間あたりの入力文字数」を求め、それを横軸にし、またその文字数を入力できた人数を縦軸に結果を示したのが図表 3-3-1a および図表 3-3-1b, 図表 3-3-1c である。

小学校では、1分間に5字未満が最も多く、平均は5.9字、中学校では、文章①では20字以上25字未満が最も多く、平均は17.4字、文章②では5字以上10字未満が最も多く、平均は15.6字であった。小学生については、濁音・半濁音、促音の組合せからなる単語の入力に時間を要している傾向がある。中学生については、ひらがなとアルファベットの入力切り替えに時間を要している傾向がある。

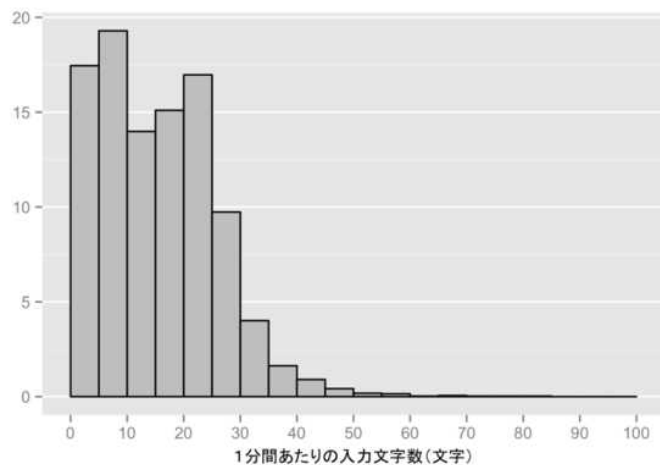
図表 3-3-1a 小学校：1分間あたりの入力文字数（文章①）



図表 3-3-1b 中学校：1分間あたりの入力文字数（文章①）



図表 3-3-1c 中学校：1分間あたりの入力文字数（文章②）



3-3-2 調査問題ごとの解答時間のデータと解答プロセス

調査問題は、小学校、中学校それぞれ4つの小問からなる8つの大問から構成されている。コンピュータ使用型調査によって蓄積された児童生徒のログをもとに、それぞれの大問ごとの解答時間のデータを算出した。

また、児童生徒が解答までに試行錯誤したプロセスのデータも取得した。ある生徒の解答プロセスの例を図表 3-3-2 に示す。

中学校 D4S3 修学旅行小問 3は、旅行のシミュレーションソフトを使い、13:00 に出発し、指定された4か所の見学地を回って17:15 までに出発点に戻ってくるのできるルートを見つけて解答するものである。各見学地を回る順序をプルダウンで選択すると、地図上にルートが表示されるとともに、交通手段や移動にかかる時間、出発点に戻ってくる時刻が表示される。

この生徒は、まず、「駅-A-B-C-D-駅」とアルファベット順に行き先を選択し、計算ボタンを押して出発点に戻ってくる時刻が「17:20」という結果を得た。次に、駅から見学地Cに行くパスを選んで、その後の組み合わせを変えながら、それぞれ異なる3ルートを試行している。その際、「17:30」や「17:25」という結果を得て、再度駅から見学地Aへ行くルートに戻し、その2回目(計6回目)でようやく「17:15」にゴールに到着するルートを見つけることができたことがわかる。

以上のように、最終的に正解した生徒であっても、計6回のそれぞれ異なるルート選択という試行錯誤の結果、正答へとたどり着いている。行動結果であるため、生徒が各回の結果をどう解釈したかなどの思考過程は不明だが、探索の過程の特徴はつかむことができる。

図表 3-3-2 中学校 D4S3 修学旅行小問 3における ある生徒の解答プロセス

試行	第1区間	第2区間	第3区間	第4区間	第5区間	到着時間
1回目	駅⇒A	A⇒B	B⇒C	C⇒D	D⇒駅	17:20
2回目	駅⇒C	C⇒B	B⇒A	A⇒D	D⇒駅	17:30
3回目	駅⇒C	C⇒D	D⇒A	A⇒B	B⇒駅	17:25
4回目	駅⇒C	C⇒D	D⇒B	B⇒A	A⇒駅	17:25
5回目	駅⇒A	A⇒C	C⇒B	B⇒D	D⇒駅	17:20
6回目	駅⇒A	A⇒C	C⇒D	D⇒B	B⇒駅	17:15

これらの例のように、コンピュータ使用型調査によって得られたデータを分析することによって、このほか大問ごとの分析、小問ごとの分析、通過者と非通過者による解答時間の分布の違い、正答に至るプロセスの分析、文字入力と調査問題の通過率や各質問調査の結果とのクロス分析等を行った。その結果は今後作成する報告書(全体版)において詳述することとする。